

弓削通信

発行者・平山和昭
愛媛県越智郡弓削町
土生318-2 F A X &
電話：0897-77-3072

子どもが学校にむかつき、親が教師を信頼しない。なぜだ？ 地方から始めよう 教育行政の刷新を

議 会 見 聞 記 20

平成九年一月二日付の愛媛新聞でも平山の質問と町長答弁が報道されましたが、弓削町教育長が不在のまま三カ月が経っており、そこで平山の一般質問は、
①弓削町教育長の選任について
②介護保険法について
でありました。



教育長選任について

昨年九月定例会で、前教育長の任期満了にともなう欠員教育委員の推薦(予想では再任)が議会に対してある筈でしたが、ありませんでした。本会議終了後の議会と理事者代表との協議会で、町長より「努力したが適任者がいなかったがとりあえず代行者を

一二月定例会で、教育長選任が滞っている理由をただし平山の質問に対する町長の答弁は、つまり「前教育長を勤めた人物は適任でなかったので委員候補としてふたたび選任する自信がなかった。現在人選中であり、年度内に選任し議会に提案する」というものでした。

たて、引き続き努力するので了承してほしい」との事情説明があり、議会側は了承しました。現在、前総括班々長の堀田氏が教育委員会事務局に出向し、代行者となつています。

たて、引き続き努力するので了承してほしい」との事情説明があり、議会側は了承しました。現在、前総括班々長の堀田氏が教育委員会事務局に出向し、代行者となつています。

教育委員会と教育委員

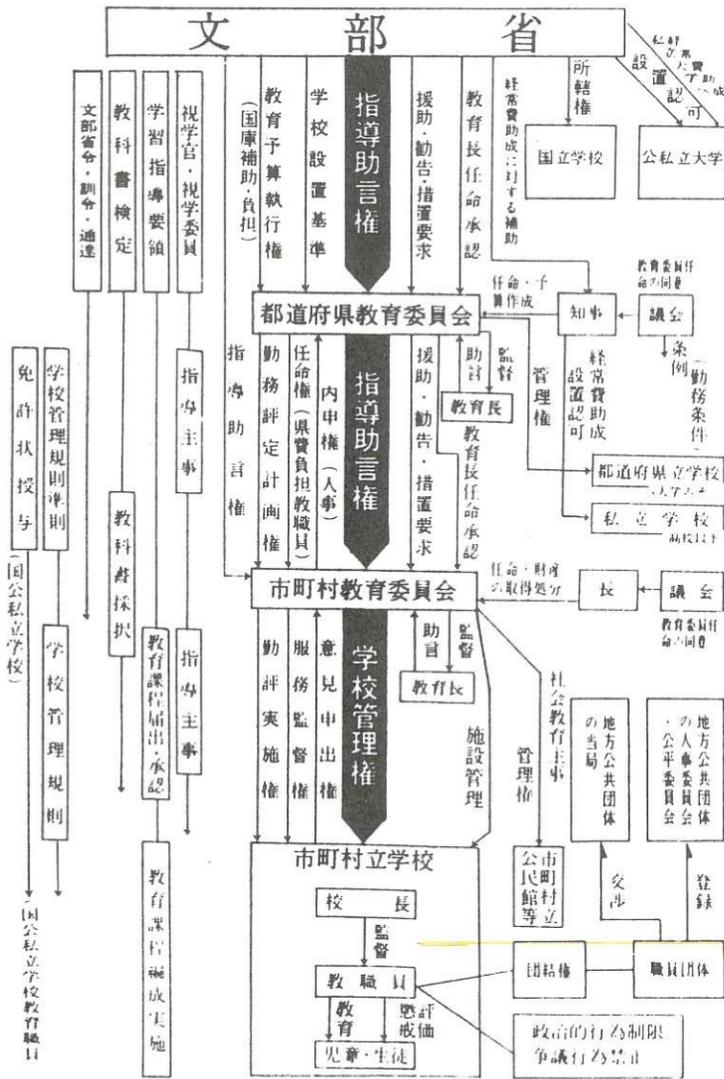
『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』には、都道府県市町村の教育委員会及び教育長に関する条文があります。ご存知でしょうか、以下それらの一部をかいつまんで書いておきます。

〇歳以上、市町村なら二五歳以上)で、人格高潔、教育・学術・文化(以下単に教育)に関し識見を有する者のうちから、議会の同意を得てその自治体の長が任命します。任期は四年。
教育委員長は教育委員で互選し(選挙)任期は一年。再任も可。
教育長については
(1)都道府県のばあいは、文部大臣の承認を得て都道府県教

育委員会が任命します。
(2)市町村の場合は、市町村の教育委員の内から都道府県委員会の承認を得て当該市町村の教育委員会が任命します。任期はその人が委員であるあいだ。
この関係を弓削町の場合でみると、教育委員の任命権は町長にあり、教育長の任命権は、町長に任命された人で構成される教育委員会にあります。

文部省は市町村から上がったきた教育長候補者について次の諸点を慎重に検討して承認するよう県に行政指導しているといえます。(参考・坂本秀夫・山本廣三・編著・文部省の研究三一書房)
①人物・識見②学歴③経歴(特に一定期間以上の教職ないし教育行政歴及び管理経歴を有するかどうか)④年齢⑤健康状態⑥その他(市町村長や議会との関係において円滑な行政運営を期待しうるかどうか)
これだけの条件をクリアする人材を用意しなければならぬとすれば、地方の自治体の首長の苦心と悩みは同情に値します。しかし考えてもみてください。これこそ中央の地方に対する余計なお節介の極みと言ふものです。

教育行政機関権限図



出典：『教育小六法』学陽書房 平成5年版

ちまたでは文部省の意向に逆らわない人が学校幹部になれるの公算が高いと言われていますが、文部省の干渉のやりかたを知ると妙に真実味を帯びた噂ではあります。
(うらにつづく)

教育長というポストは どういふものでしょう

みなさんの中で十分腑におちている人は案外少ないのではないかと思います。かく申す私もその一人です。
日本の教育行政を中央集権化するために仕組まれたシステムはその意図が見え見えなのに、極めつき「わかりにくい」形に仕上がっています。
(左上図参照)

ところで法律に明文化されてはいませんが

法律の趣旨から言えば、教育委員に推薦される人は教育長にもなりうる器を備えていると考えてしかるべきです。ところが現実には初めから、教育長候補とただの委員候補との暗黙の了解が成り立っているものの、議会ではただ委員としての同意のみが求められます。
むろん議会はその後の教育委員会内の人事は管轄外です。

教育長の仕事は

(おもてよりつづき)

教育委員会の指揮監督のもとで教育委員会の権限に属する事務一切を司ります。

これを次のように想像してみてください。

町長に任命された議員で構成される議会があり、その議員で議長を互選する。事務局の構成員は町長の部下。そしておなじく議員の内から、いわば議長ともいえるべき者を一人、県議会の承認のもとに選んで、議会の権限に属する事務一切を取り仕切らせます。給料は議長の何倍も…。さて、どういう結果がでるでしょうか？

以上が教育委員会に関する人事の大筋の流れです。

そもそも教育委員会は、戦後、戦争遂行に大きな役割を果たし、国民に塗炭の苦しみを与えた文部省の権限を大幅に削除し

①教育行政の民主化

②地方分権

③一般行政からの独立

を改革原理として、二度と軍国主義への道を歩まぬ目的で一九四八年(昭和二三)委員の公選という形で生まれまされた。朝鮮戦争勃発(一九五〇年)を機に日本の再軍備が進行し、政府・与党により教育委員の公選制の廃止、首長による任命制が、国会に警官五〇〇人を導入するという混乱の中で一九五六年、可決・成立しました。

これ以後、教育行政の中央集権化が着実に進行し、教育委員および教育委員会は住民の手からすっかり離れ現在にいたっています。(参考・浪本勝年著・戦後教育改革の精神と現実)

現在の法のもとでも、教育委員会の多岐にわたる職務権限は、国民にとって極めて影響の大きいものです。それなのに、その改革(学校教育・社会教育など)に一般住民はなす術がないのか？

従来のままの教育行政で流れていって良いのだろうか？

この疑問が、一二月議会での一般質問の動機でした。

平山が議員になってからの経験でしかありませんが、議会での人事の取り扱いについては、初議会での議長、副議長選挙以外は投票による選任もしくは承認人事はありません。

「人事案件については質問しないことが通例」とする議長のリードで「意義なし」の声で決定されてきました。議長の発想の意味もわかりません。

人事が政争の具になってはいけません。くちさがなく暗くなる。執行部の見識を信頼する。しかし、やはり議会に責任があるなら、これはおかしい。そこで、平成八年九月定例会において、教育委員二名の議会の同意を求める人事案件の取り扱い方について議長に異議申し立てをしました。

「教育委員に推薦される上で抱負とか決意とか、なにかその人の考えを述べたものを参考資料として提示されたい」というようなものでした。議長はそれに対して「外部でもそのような意見もある。今回はこれでいくが次回からは考慮していききたい」と述べました。

その後有志議員の話し合いの中で、議会の権威、あるいは責任を果たす上では、今後人事案件は投票を原則とするべきではないかとかの意見交換もなされました。そんなことのある直後に前教育長の任期満了にともなう後任(再任)委員候補案の非提示であったのです。

何がそうさせるのか？

元教員だった人の中には教育委員会無用論を唱える人も多くいます。現場の教師にとつての教育委員会とは、識者の集まりとは名ばかりの、単に行政(文部省)政府与党の政策を末端に染みわたらせることに汲々とする手先でしかなく、あるいは情動的な親の口車にのり、不当に人事権を行使したりして、真の教育向上のために働かないという不信感もあるようです。

勉強してみると確かに制度の矛盾、やりにくさがありそうです。今も昔も文部省は権力の権化で国民の味方ではないことが、昨今の学校教育のありさまを通して納得できるところです。しかし私は、だからこそ、あえて次のように言いたいと思います。

制度は人間が作ったもの

善、不善は運用次第だ

私たちが勇気をもって意見を言い、また、自己啓発、自己変革を目指せば、たとえ不備なシステムでもより良い教育行政が期待できる筈だと。私はそれを信じます。(議会議員・平山和昭・記)

僕の名前は「ポク」。地球人類語で言えば「宇宙人」。宇宙人として言えば、そう、今は地球人で東洋人で日本人というところか。大抵の生き物は、自分の姿形、感じかたを基準に物事を判断する。だから「人」と名乗ってはみるが、もちろん僕は「人類」ではない。それでも僕がかりそめにも地球人であられるのはちょっと込み入った事情がある。まあ追々明らかになるだろう。



僕が地球にやってきたのは地球時間でおおよそ百万年前。地球から六千光年離れたある恒星の第四惑星からだ。そこには地球人から見れば発達したといえる文明をもつ生命体があった。「ポク」とはその星にいた頃の僕のコードネームで、「私は私です」と言うような意味だ。

その星では数え切れないほどの「ポク」が、今の地球先進国にあふれているコンピュータのような機能を持つ巨大な『環境維持制御システム』にその星を構成する要素の一つとして登録されていた。多分、いまでもそうだろう。コードは全員「ポク」。しかし、システムにはもちろんのこと、僕達同士、お互い明確に識別でき、二人として同じ「ポク」は存在しない。高等な生物とはそういうものだ。

▲中学生達からナイフを取り上げたら事件はなくなるか？▲文部大臣の人権感覚の希薄さと、権力主義の警察感覚が結びつくとうなるか？いち早く持ち物検査はしないと表明した愛媛県教委。近年希に見る快挙で立派▲小手先の対応では事の本質には迫りません▲創作で辰巳都さん新登場。

▲中学生達からナイフを取り上げたら事件はなくなるか？▲文部大臣の人権感覚の希薄さと、権力主義の警察感覚が結びつくとうなるか？いち早く持ち物検査はしないと表明した愛媛県教委。近年希に見る快挙で立派▲小手先の対応では事の本質には迫りません▲創作で辰巳都さん新登場。

双眼鏡

▲中学生達からナイフを取り上げたら事件はなくなるか？▲文部大臣の人権感覚の希薄さと、権力主義の警察感覚が結びつくとうなるか？いち早く持ち物検査はしないと表明した愛媛県教委。近年希に見る快挙で立派▲小手先の対応では事の本質には迫りません▲創作で辰巳都さん新登場。

茂山狂言会鑑賞会

3月14日(土) ヘルカントホール 午後6時開演



狂言鑑賞会への誘い

ヘル・カントホール公演 実行委員会では、今年度から「古典芸能」を鑑賞する機会を提供していきます。第一弾として、3月14日(土)に茂山狂言会による「狂言」をお届けします。

入場料(全自由席) (当日各500円増)

1,500円 2,500円 4,000円

主催▶広島県文化ホール活性化協議会
ヘル・カントホール公演実行委員会
中国新聞社

後援▶広島県・広島県教育委員会
瀬戸田町・瀬戸田町教育委員会

●問い合わせ ☎7-3848 (瀬戸田町)

いのしま健康福祉まつり

因島市民会館大ホール

3月7日(土)前夜祭 18:30~
のりのりコンサート
河野康弘とゆかいな仲間
シングル券 1500円 (当日 2000円)
ペア券 2500円

3月8日(日) 15:00~
映画・アニメーション
「地球が動いた日」
前売り券... 900円
当日券... 1100円
因島であいの家 ☎08452-4-1000

加藤登紀子コンサート



と き★1998 開演14:30 開演15:00
と ころ★ベル・カントホール
入場料★S席 6,000円(当日6,500円)
A席 5,000円(当日5,500円)
B席 3,000円(当日3,500円)
主 催★ベル・カントホール公演実行委員会
後 援★瀬戸田町・瀬戸田町教育委員会

不連続空想非科学童話
宇宙シン・ポク (1)

辰巳 都

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

【投稿】少年のナイフ事件に思う

——イルカの寝言—— たいら丸 いるか

人の歴史の中で他の動物との違いは何かというところ、云うまでもなく道具を作り出し、それを使うことにより文化を築きあげて来たことだろう。道具を使用する一連の流れがなかったならば、現在の文明はあり得ない。

ほんの少し前までは、子供達の筆箱には、切り出しナイフとか肥後守の折たたみナイフが入っていた。ナイフの使い方は、親から子へ、先輩から後輩へと受け継がれて、四〜五才児といえども自分の鉛筆の一本くらいは削れる子供が大勢いた。鋭い刃先であるゆえに、上手に操作しないと指先を傷つける。痛い。血が出る。そして血をなめながら、

ら、痛さを思い知る。その痛みがわかるからこそ、刃物で人を傷つけることの恐ろしさを自覚してきたのである。

一方、刃物は戦いの武器になり、多くの人々を殺傷してきた。故に、と云うべきか、人々は刃物を、危ない恐いもの、と目の敵にして遠ざけてきたのも事実だ。しかし本来、人間の文明を支えてきたのは刃物を使って必要な品物を作

り出してきた人の営みだ。昨今の文化生活と云うのは基本的なことまで捨て去ろうとしているかに見える。

子供達に自分の手でモノを作るといふことを伝承しなかり、だが、金を出せば必要なモノはすぐ手に入る現実に慣れてしまった。

幼児期、少年期は友達同士の遊びの中で、協調性、良い悪いのケジメをちゃんと作ってきたものである。ところが社会の風潮が高収入を求め、高学歴、大会社への就職指向となったので、中学校は文字通りの義務教育で、塾へ行かなければ勉強した内に入らないと云ったゆがんだ感覚が子供達の心の形成まで歪めてしまった。

モノを造る、切る、削る、といった基本的には幼児期に教えておかなばならぬことが

出来なくなっている。ナイフだけを悪者にして、所持を禁止すれば事は解決すると考えているかのような文部省や家庭、学校の取り組みかたには警鐘を鳴らしたい。

子供達には刃物の正しい取り扱いを理解させ、自分の手でいろいろなものを作り出す機会をふんだんに持たせ、完成の喜びを味わおう。そうすることが『自然』を理解し、『人』『物』に対する思いやりにつながると思う。

ある学校長は、良い酒はゆっくり醸造して造る。教育も同じであせらないでゆっくり教える。子どもの教育をタルの中身と考えるなら、タルが家庭であり、学校であり社会であるとおっしゃった。

私も最後に脳味噌をかき回しながらこう言いたい。「人類を救うのは学歴ではなく、人間性だ。金がなくとも自然を大切にすれば生きてゆけるが、人間性が失われれば生きてはゆけない。子供達を優しく包み込んで温かく見守ってあげることだと思う。」
(房総在住・六六才)

モノ作りの機会をふんだんに、切る削るは自然を理解し、人、物にたいする思いやりも。



『30年の歴史を閉じる佐島保育所。98年3月写す』

町議・平山和昭 見聞記 21

平成十年度第一回定例会は三月十一日から十九日までの会期で開催されます。初日には町長の諸般の報告、一般質問三名、九年度補正予算審議と採決、及び十年度の一般会計予算案、特別会計予算案の説明が行なわれました。教育委員推薦を含む四議案の追加と十年度予算案の審議は十九日に行なわれる予定です。

- ◆一般質問には土居議員が
- (1) 介護保険制度について弓削町の取り組みについて
- (2) がん検診の存続について
- ◆前田議員が
- (1) この四月閉鎖される佐島保育所跡地の処置について
- (2) ホームヘルパーの活動状況について
- ◆平山は
- (1) 少年の刃物を使った非行犯罪に関して弓削町教育委員会の対応について
- (2) 町内の一部集会所の再整備について
- (3) 町臨時職員の採用について
- (4) 弓削町情報公開条例の制定について、それぞれ聞きま

した。少年犯罪に関しては、話題になって『持ち物検査はしない』というのが、学校および教育委員会の教育的配慮であることが明らかにされました。正しい配慮であると思えます。集会所の件は、太田地区の状況に言及したため地元出身の町長が特に答弁に立ち、建設当時平地に建てたらどうかとの提案にも関わらず現在の高台に建てることを皆が望んだ、との説明がありました。太田地区の総意をもう一度立ちあげれば願いは叶うかもしれませぬ。(以下次号)

【おたよりから】

『団塊の世代、一世・二世』

寒いけれど梅が咲き、沈丁花が香り始めました。春はもうすぐですね。私は毎日のように歩いています。汗ばむくらいの早さで冷え症知らずです。

次々と起こる事件、汚職の数々、不景気の大合唱等々、嫌なニュースばかり。その中でオリンピックでの若者たちの活躍はやはり力強く感じました。大きな大会に出場できるだけでも素晴らしいのに、プレッシャーに勝ってメダルまで手にするなんて、大したものです。マスコミの報道を見ていると駄目な人間ばかりのようですが、がんばっている若者を中心に世の中が少しでも良い方向に進んでほしいと願うばかりです。

政治家にしても子供達にしても、問題が起きる毎に、規則法、が厳しくなりがちですが人としての基本的な心がけや良心の部分での欠陥があればどうしょうもないですね。

私たち団塊の世代は、敗戦後、自信を失った親(現在70~80才)に育てられたので何か大事なものが欠けているのではないかと時々思います。その団塊の世代の子供達が、もう次々と世の中に出てきているのですものね。
(2/22 T・T)

『気楽にやれるのはヒラ』

学校では生徒指導というのをやっていて、それも案外いそがしいです。教育長不在は、行政の力関係によるのが多いのですが…。

教育長は教育委員の互選ですが町長の息がかからないとなれないようです。町長より教育長が年上というのもザラにあります。教育長の教え子が町長というのもあります。校長にはなれるけど、教育長になれる人は同年代の教員のうちの一人。エリートと言うべきでしょう。他の退職校長は、町の何かの肩書きをつけられます。校長だらけの町では肩書きがなくなります。気楽にやれるのはヒラなのかもしれません。死ぬまで競い合いは大変ですね。
10/3/4 (Y・H)



追う旅3 道鏡 道鏡悪僧説が伝えられた理由

田村豊幸

氏名 孝謙天皇(阿倍内親王)称徳天皇
生年 養老二年(七一八)
年齢 四十四歳(父聖武天皇・母光明皇后)

現症

当時宮廷では勢力争いが激しく、祖父藤原不比等一門は長屋王夫婦とその子の四王を殺害、藤原四兄弟の死後翌年、ようやく本人二十一歳のときに立太子した経歴がある。

三十九歳で藤原仲麻呂を知り親しくなったが、今より二年前に内裏の御持仏堂で初めて弓削道鏡に会った。

患者は仲麻呂が近江に造った保良宮という新しい保養所(現在・大津市国分二丁目字新田の西の山中に跡が残っている)で、年来の更年期障害の体を休めていた。

それは連日のように激しい頭痛に襲われ、手足の冷え、全身倦怠、疲労、動悸、めまい、胃部膨満感、頭重、腰痛、不眠と、多くの自律神経失調症状を誘発し、到底政務を執ることが不可能に陥っていた。

主治医 弓削道鏡

処方

肉体を診断すると、比較的体力低下し心窩部に振水音を認め証にしたがい、呉茱萸湯(ごしゅゆとう)を与えたところ、つきものが除かれたように回復して、体力は充実、振水音も消えてしまった。しかし山腹に造られた保良宮の階段の上りおりの動悸は残っていたので、釣藤散(ちようとうさん)与えたところ、間もなく消えたから患者は喜んだ。

因島おやこ劇場

ロバの音楽座 愉快なコンサート

これは不思議な音楽会。
中世の楽器が盛りだす。

3/23 18:30~
とよ 芸予文化情報センター
因島おやこ劇場 ☎08452-2-4166

孝謙天皇の病気を治した弓削道鏡の漢方薬

それを見た糖尿病で陰萎の側近が、道鏡の医術を羨望・嫉妬・根も葉もない噂を捏造したものを、日本代々の陰萎学者が現在に伝えた。

両処方とも人参・生姜が共通して含まれており、後者の処方には大棗(なつめ)も含まれている。現在、山之内製薬の朝鮮人参配合天然ビタミンE製剤「ヒヤクαE」があるが現代ならさしずめこのようなものを与えることになる。

病人は病気を持っている人ですから、病変が治っても人の気持ちが悪くなったと思わない限り治ったことにはなりません。

検査した結果、異常値が発見できないので健康ですと、いろいろな症状を訴える病人をつき放す、阿呆医者が現在ときどきいます。

道鏡が使った『唐方医学』は、まず、病人の心を治すために、宿曜秘法(すくよう)という、天文学を基礎とした占星術で、病人の心をやわらげる、予測の科学を活用したすばらしいものでした。

宿曜道は空海、円仁、円珍らによって唐から伝えられた当時の最新応用心理学だったのです。大部分の日本人はその教育が欠けているので、それらを非科学的なことと考えています。

(おことわり・本文は田村豊幸さんの著書『孝謙天皇と弓削道鏡』の一部を著者の承諾のもとに転載したものです。

田村豊幸さんの略歴

大正十一年栃木県生まれ・日本大学歯科・医学科卒・薬理学者・抗結核剤の副作用の研究で医学博士・著書は「薬品副作用学」などの専門書のほか一般向けに「薬でどどん悪くなる」とか、文芸、郷土史、一般書など多数。歯に衣着せぬ文体は読むだけでストレス発散に有効・日本大学名誉教授・道鏡を守る会会長

富良野塾公演 今日、悲別

[作・演出] 倉本 聡

因島公演 予定 11月1日(日)

保温調理法

朝日新聞(%)を見ようか?と思いつくや、めたら good! がス化部、温暖化防止にもなる保温調理法を、こころお救いします。私にためしたのほ、おひし、下ごしらえした材料をずん胴に入れて、ややく、ふいとう10分足らず、そのまゝ新聞紙につつま、産布団の上におき、上からバスタオルをかけ、そのまゝ4時間夕方鍋にごわると、アチチ、コンロにかけると即!ふっとう。この冬に信じられますか? 野菜はうまいが、すじ肉がとろけるまでいいか? 夫、おれ、フレイム。

保温調理法が広まれば年間60億円のガス節約とか、ほんまかいな? ま、だまされたと思、こやてみればいい。(おやこ劇場機関紙より)



宇宙シンボク (2) 辰巳 都

海に潜るとギイーとかグーとかいうオトが聞こえます。グチ鯛の鳴き声だとか、櫓(ろ)の音だ、いやクジラが話しているんだとか、いろいろに人は言います。

「うんにゃ、あれはゴミトリサイクルが海流にもまれ、きしんでいる音じゃ」ポクじいちゃんは、こう教えてくれた。

むかし、この星の人々は便利な道具をあれこれ発明しては便利に暮らしていた。ところが便利になればなるほどゴミがふえ、その処置にはどこの政府も頭を抱えていた。

そんな時じゃ、ゴミトリサイクルが発明されたのは。

自転車に似ていて動力は人力、地上でも水上でもスイスイ、ついでにゴミも取る、というスグレモノじゃった。燃料は使わない、サイクルの通過後は、きれいな、きれいな、という訳で大ブームになった。特に島で生活していた人々の間では、いつでも好きなときに海を道路に交通でき、ついでに海はきれいになるので、あつというまにひろまったんですよ。

最初はえかった。ところが妙な事になった。なぜかゴミトリサイクルが増えると、ゴミのポイ捨てが以前より増えてきたんじゃ。サイクルも改良されたが新型が出れば旧型はゴミ。ゴミ、ゴミ、ゴミ……。たまりかねた政府は、とうとう全てのサイクルを海にポイさせたんじゃと。

向として、アメリカ文化と英語を中心としてアジアを無視している。国際化とは文化を交ぜると言う意味です。近くには国際化のいい機会が二つあります

瀬戸田 国際交流員ミックスセルさんは広報の彼女のラムの中で卒業式について次のように言っている。「日本の生徒さんや保護者

や先生は本当に悲しそうだった。私の学校では皆の努力、頑張る気を認めて祝い盛り上がり、これからの生活にも元気を出すように応援するような卒業式です」

大三島 国際交流員クリスさんは広報の彼のコラムの中で国際化について次のように言っている。「日本風国際化は現在の傾

向として、アメリカ文化と英語を中心としてアジアを無視している。国際化とは文化を交ぜると言う意味です。近くには国際化のいい機会が二つあります

岩城 広報いわぎ3月号に中2生がイングリッシュクイズを投稿。国際交流員ケリーさんは紙上オーブリーエストラネ イングリッシュ講座

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

おのし役者いちゃう

『表現する力』と『生きる力』

すこし、いや大分古い話になるが、学生時代に読みふけた本にスタニスラフスキイ著、山田肇訳『俳優修業』がある。別に俳優になりたいとか演劇に関心があったと言うわけではなかった。ただ何かの本を読んでるとき演劇におけるスタニスラフスキイ・システムがどうのこうのとあり、尋ねる相手もないまま著書の解説をたよりに『俳優修業』を買い求め、おもしろかったのでつい読みふけたにすぎない。今となっては系統だててその内容を思い出すこともできない。読み返す気なら書架に在りもするが、もうそんな気も起こらない。とはいえ『俳優修業』の中でいま

も印象に残っている言葉、というか考え方が一つある。それは、魔法の「もし…」という言葉である。

俳優が「もし…なら」という仮定法を活用すれば、役作りの段階で眠っている想像力を刺激し、創造的な潜在意識を呼び覚ます、というような意味であったように思う。日頃、私たちが気配りだと

か思いやりだとか言っていることも実はこの「もしも…」という仮定を無意識のうちにたどっている?。

先日、因島おやこ劇場(おやこで生の舞台を楽しむために活動しているグループの因島支部。現在会員は因島・生名・弓削・岩城あわせて三百五十名ほど)主催の『表現活動ワークショップ』というのに参加した。来五月三十日の例会である『リーダーズ・シアター』の事前交流会として『楽劇団いちょう座』のメンバーが講師で「親子で体験・表現の楽しさ、役づくり」というものであった。若い親子に交せてもらっての楽しい体験であった。詳しくは次の機会にゆづるとしてひとつだけ印象深かった事を

記しておこう。参加者四十名だったのでグループにわかれ、想像大縄跳びをした。縄をまわす二人の手に実物はなく、あるつもりになって回す。残りは、あるつもりになって跳ぶ。上手に跳ぶ子もいれば下手な親もいる。

感動的だったのは、縄回しのタイミングがずれると、ひっかかって見せた子どもがいたことだ。言うまでもなく、その子は現実には無い縄を、在るものとして対処したのだ。あまつさえ、かつての失敗さえ再現してみせて!

子供ってすごいなあと、しみじみ思った。こんな無垢な精神をいっばい抱えている社会で、私は現実には無いものが見えるほどに想像力をかき立てて生きていくのだろうか?

↑15日・30日朝の野菜市 下弓削マート



● 一般質問つづき

町情報公開条例の制定については、平成八年三月定例会で同条例の制定について質したところ、年度中に提案したいとの答弁があったものの、その後二カ年を経過してなお音沙汰がないので状況説明を求めたものです。素案は出来ているので個人情報(プライバシー)保護条例がしっかり整えば制定したいとの答弁でありました。

答弁をはずかしくみれば、全国に先行例はいくらでもあつたわけだから、要は国、県の法・条例の制定を待っているとしたか思えない。他に先んじてる事はいろいろな意味でのトレーニングを積める訳だからためらう必要はないと思うのだが、まあもう時間の問題のようであるから「出来るだけ早く」と要望した。問題は、住民サイドにそれを活用する力量が無ければ宝の持ち腐れとなることです。議員の責務もいよいよ大きくなります。

● 教育費に提案

新年度一般会計予算に関し

ては『広報ゆげ5月号』に詳細が載ります。

予算案審議にあたり平山は教育費については次のような提案をしました。

「本町の学校教育費は必要最小限の予算しか組んでいない

3月定例議会その2 見聞記 .22

● 議会を傍聴しませんか!
CATVで放映されるのは、ほんの一部分です。一般質問や審議の内容を傍聴席で詳しくどうぞ。時間内の出入りは自由です。グループでぜひ!

観がある。児童・生徒数の減少は憂慮に耐えないところではあるが、子どもの数が少ないから出来る施策もあるのではないか。例えば外国への修学旅行とか、ホームステイなどは有意義だと思う。歳入に

● 人事案件

さて、欠員となっていた教育委員の人事案件は「投票による表決」の結果、賛成多数で毎木正博氏前福祉班長が議会の同意をかちとりました。氏は三月二十六日、県教育委員会の承認を得たので弓削町教育長に任命されます。

議案の表決について

「表決」とは、議会意志を決定するため、議長要求によって出席議員が、問題に対して賛成又は反対の意志を表明することを言うのはご承知のとおりです。

表決の方法は「起立表決」が原則ですが、ほかに「投票による表決」と「簡易表決」があります。人事案件は起立や挙手などの表決では適切さを欠くので「投票」が通例で

す。ところで本町議会は慣例として「簡易表決」が採用されてきました。簡易表決は、議長が問題について意義の有無を会議に諮り「意義なし」と認めると直ちに可決を宣告する方法です。出席議員全員が賛成が見込まれる場合に用いられます。

議会の同意が必要な人事案件なら、議員の自由な意思表示の機会が保障されるべきです。議会の総意の前段階として、議員各人の責任ある意志を表明する「投票の洗礼」を受けてこそ、選ばれた人に名誉と誇りが付与されると考えます。賛否の差がいくらであれ選ばれる価値に何ら変わりがあるものではありません。

国政の場では、少年等の問題行動に端を発して、教育行政の制度の見直しも言われ始めました。一方、改革に名を借りた反動化、右傾化に走りかねないムードもあります。地方はよっぽどしっかりしないとまた暗い路に引き摺り込まれかねないのです。

新教育長に期待すること大なるものがあります。(町議会議員・平山記)



弓削道鏡と

道鏡悪僧説が伝えられ

てきた理由(二)

田村豊幸

想像を絶する僧侶の厳しい戒律に無知

僧侶と言うと、つい現代のそれを想像しがちですが、当時のしかも大きな寺の僧侶は極めて格式の高いもので、平成四年十月四日の奈良新聞で、唐招提寺遠藤證圓執事は「道鏡の真実の姿を探る」という記事の中で次のように述べておられます。「道鏡と孝謙の間で淫猥なことが伝えられているが、当時の僧界の流れからも、あり得なかつたと考える。

道鏡が僧綱についたのは天平宝字七年九月で、その五月に鑑真和尚が示寂され、まさに直後のことである。そうした時期に女性にふれる戒を犯すことなどあり得ないのに、このあたりのことがいまだに歴史学者にも小説家にもほとんど指摘されていないのは不思議である」(概略)

その頃の僧侶は今のようには葬式をすることはなく、葬式は近所の人たちが助け合って行なうもので、僧侶はその地域の行政、教育、文化担当の重要な指導者でした。まして、天皇から法王の位までもらう人物が、どんな修業をした人か。知らないことは、恐ろしいことでもあります。

一羽鳥

道鏡を慕う伝説が残っている

本田義幾

地名が弓削でなくとも道鏡の伝承をもつところがある。これはこじつけといえないところがある。その伝承から道鏡の姿が浮かび上がってくるように思う。

二羽鳥(山梨県南巨摩郡早川町奈良田) ここには道鏡と孝謙天皇が一時避難してきて、湯に入ったたりして健康を回復させて京に帰っていったという伝承がある。京に帰った天皇を慕うあまり、京の方ばかり向いていたので片方にだけついたのだという葦の葉を見せられた。片葉の葦の伝承は他の地方にもあるが、孝謙天皇との関係であるのは此処だけである。二羽鳥(からす)というのは、道鏡が奈良田に滞在中、農民が鳥に畑を荒らされるのを見兼ねて鳥を退治したという伝説である。山また山の、今も南アルプスの下山口となつている奈良田は、山で仕事をやるか狭い畑を耕すしか方法がないところでもある。畑に種を蒔けばすぐ荒らすのが鳥であった。それを知った道鏡は鳥を説教して速やかに退去させたという。その時条件として雄と雌の二羽だけのことを許したので、今でも鳥は二羽しかいないという。説教の中身は聞かなかったが、あのいたずら鳥が言うことをきいて去って行ったのだから中身のある説教だったのだろう。

久司浦

本年、本町で一等最初に満開になった染井吉野

引野

潮が引いたときテトラのそばでゴミを大燃やした

浜都

本年も松食い虫が計画されている

土生

駐車場にしている羽並んで死んで

江ノ折

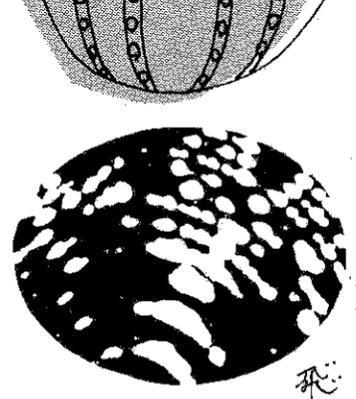
弓削じゅうどころでも世界の秘境がある。スケールアップ・ダウンが自在な空想力と一寸したコッ。江の折から海を見れば了解す。

弓削通信スミズミまでよみました。少年のナイフは、カルシウム不足で脳の異常亢奮によることが薬理的に明白ですが、なぜかそれを政府がかくしているのです。多分、製造企業からの政治献金がなくなることを心配しているのでしょう。カシウム不足を解消するためには、白砂糖を多量に含む甘いのみもの、コーラ類、菓子、食品のくいすぎ、のみすぎをやめることが欠かせないからです。そんな話はむかしから私がいつづけているのであって、本にも沢山かきました。教育問題以前の医学問題であります。そのイミで、3月15日号のイルカさんの説は残念に思います。しかし、これが一般論でしょう。余談になりました。 3月20日 田村

おたよりから 弓削通信71号ありがとう。少年と刃物の問題、今日(4月1日)国会での参考人の発言を聞いてゾーッとしました。小生は特殊学校と云うせまいところで仕事していたし、ことばで表現できないこども達の心との対話をしながら過ごして、教育はこれだと命がけでやっていたから、国会ギ員の皆さんより現在の学校について知っている部分はあったつもりだったが、多くの教師が知識伝達のロボット化していることや、一部の教師に負担がかかりすぎて潰れていることは知らなかった。孫が義務期間にまだ5人いるが、とても心配になってきたよ。人間の傲慢さに気付く子にしたいものです。 荒井

わたくしたちはチエルノヴィリを忘れない 1998/4/26(日) 13:30~16:45 尾道清心幼稚園ホール VTR「六ヶ所村...日本の核の村」 トーク・大庭里見さん(リ・リ・リ) 第二部 音楽コンサート...マジック... 会場:尾道清心幼稚園(尾道市東原東1-12-1) 0848-73 5395 (リ・リ・リより徒歩5分)

不連続空想非科学童話 宇宙シンボク(3) 辰巳都



未来。それは誰にも平等にある。ところが気がついてみるとそれが掴み所のないものになっていて、滅びに直面して、やっと間に合わない自覚が生まれる... この星の者たちも、いつもたわいのない欲望をテコに、大切なものを片端から台無しにしてきた。僕にとっても皮肉な巡り合わせだった。というのも、僕は百万と四百年かけたすえ、僕自身の振り出しに戻っていたからだ。 僕の名前はポク 僕はスピリッツ 僕はサイコ 僕がゆく 来た道をさかしまにたどり 心は形を求めて 僕とゆく

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

現代日本において最もひんしゆくを買っているのは政治家だと言っても過言でない。ここに言う政治家とは行政に關わる全ての者、と言う意味である。

経験によると講演会やシンポジウムで政治家が良く言われることは、まず無い。敗戦後も永い一党支配が続いたままのわが国の政治家は与党と言わず野党と言わず、中央と言わず地方と言わず、あるべき姿を追求することを概ね怠ってきた。そういう政治家を選び続けている国民は果たして誰からひんしゆくを



どうする わたしたちの

買っているのだろうか？
このことは当然我が身に向けられた告発でもある。

弓削通信五十二号(九十六年六月)で紹介した弓削町中都出身で東京都渋谷区の社会福祉法人『中都』の岡八代美さんが計画する保育園と同居した老人ホーム建設は、来年の開設を目指して急ピッチで進められている。

このほど五月の連休を利用して生名(いきな)村越智郡老人ホーム組合特別養護老人ホーム『海光園』と、生口島(いくち)原町にある因島市立養護老人ホーム『寿楽園』を訪れる機会を、関係者のご協力で持った。個々の見聞記はいずれ書きたいと思っているが、岡さんからその折の感想が投稿されたので、まずは以下全文を紹介したい。
読者のご意見、ご感想をぜひお寄せください。

平山和昭・記

弓削に 老人ホームを 創りましょう

岡八代美

生名、生口島の老人ホームの見学どうもありがとうございました。文章でお礼を申し上げるのがまだこいしい思いです。おしゃべりな私は次のような提案をしたくてウズウズしております。思いつくまま書かせてください。

生名島に行ってみてつくづく思いました。生名の老人ホ

市町村が二分の一と聞いています。社会福祉法人の場合国が二分の一、都道府県が四分の一、市町村が四分の一になっています。

望郷の念

老人問題は『特養』だけではないので、設立前と設立後も次のようなことをしたらいいと思っています。

都会の娘や息子に引き取られてる老人のうち希望者を年に一回呼んで、三日〜五日今度できたと聞いている施設(弓削町高齢者生活センター)の部屋へ泊まってもらおう。

本人負担は交通費と一日三千円くらいの費用。一人で帰島できる人は一人で、できない人は家族か知人と共に、そして希望はするが費用の難しい人に対しては寄付を募る。私はこの役目をしてもいいと思っています。

寄付は弓削を離れている人から募りたい。帰島中の具体的なお世話をするのは弓削にいるボランティア。もちろん



弓削を離れていてもその気のある人でもOKです。

そして、夢かもしれないけれど親が死んだ後の財産は全部息子や娘が引き継ぐのではなく、少し削ってこの老人対策費に使えるような風潮を作りたい。(配偶者がいる場合は別)

老人合宿の すすめ

子供だけが頼りでなく、もっと社会全体が頼りになるようだったら老いも若きも暮ら

しやすかろうと思うのです。そのうち世の中変わるでしょうが、ここ十年位はこんな事でいかがでしょうか。
そして、これは弓削から都会に出ている老人だけではなく弓削在住の老人も年に一回「老人合宿を」して、家族から離れて暮らしてみても本当の自分を考えてみればいいし、その家族も老人と離れた生活の体験は必要だと思います。
ショートステイという体の弱った人だけを対象にするのではなく、まだ動ける人も。現実には弓削では一人暮らしで家族といっしょでない例も多いのでしようが、そのような方にも参加して頂いたらいいと思います。

聞こうや、 語ろうや

一方、老人は自分たちの希望を遠慮なく発言し、家族は自分の老後を老人と同居している中から考えてみれば...と思うのです。

そういうことが毎年行なわれている島っていいじゃあないですか。(生口島を回っているとき弓削は弓削で生口島とは違った住みやすさがあるのを感じました)

誰かだけが幸せであるのではなく、それぞれの年齢の人が、それぞれの家族の人が、大変ではあっても個人の善意にだけ支えられて幸せなのではなく、社会のシステムとして縦横に支えあえたらいい、と思えました。それには何事にも異を唱える自由さが保障されてないと難しいとは思いますが...

このような弓削島になるのであれば、以前ゴルフ場用地にと目をつけられていた山や他の用地も、どうぞ使ってくださいと喜んで提供したいと思います。

写真は九年間続いている一人暮らし老人の月一回の食事会『出よう会』の会員と岡さん。九七年版「保育園うさぎとかめ」記念文集より

双眼鏡

▲木の芽どきはなぜか ものぐるほしく▲もりもりと山盛り上がる春の雨・千手美▲南宇和の小四生の作▲山を見よ心弱りしとき希望がそこに在る。山を聞け希望がそこに在る。

第三回 因島自由大学

日時 平成一〇年六月六日(土) 午後二時~四時
場所 因島市土生町箱崎 因島市芸予文化情報センター

講師 童門 冬二氏(作家)
演題 「歴史にみる地域からの発想」

(市役所前バス停下車5分)

童門 冬二氏(どうもん・ふゆじ)
昭和二年東京生まれ。かつて東京都庁に勤め、都立大学事務局長、広報室長、企画調整局長、政策室長などを歴任。作家活動に入る。第四三回芥川賞候補。日本文芸家協会、日本推理作家協会会員。
主な著書 『小説上杉鷹山』『坂本龍馬と歩く』『小説河合継之助』『小説横井小楠』『小説千利休』『参謀は名を秘す』『小説毛利元就』『小説海舟独言』『小説遠山金四郎』ほか多数

申込先 因島自由大学事務局
因島市田熊町竹長 岡野恒一
☎〇八四五二-二一九六七三

★定額小為替二千円分を添え上記へ申し込み
★翌日は船にて近島巡りも予定されています

地球環境セミナー
美しい地球を子どもたちに
森林破壊



’98 5/23 ①
開場 PM 6:00
開演 PM 6:30~PM 9:00

講師 ネットワーク「地球村」代表
高木善之氏

●会場:芸予文化情報センター 因島市土生町箱崎 ☎(08452)2-6660
●参加費:シングル.....1,000円
 ペア.....1,800円(税別)
●主催:星の子クラブ ☎(08452)4-2544

織田恭一小品展
—光風会々員・日展会友—
’98年5月16日(土)~5月24日(日) 月曜休廊

15年ぶりの個展になります。絵の道は遠く厳しく未だに迷うばかりですが、現在の自分の仕事を見て頂かしありません。忸怩たるものがありますが、どうか御高評お願い申し上げます。



セーヌ河畔 34cm×24cm

〈画歴〉
昭和35年 光風会展初入選
昭和37年 日展初入選、以降入選26回
昭和48年 外遊、以降6回 (フランス・イタリア・オランダ・ベルギー・ギリシャ 他)
昭和58年・平成5年 光風会々員賞受賞
昭和58年・63年 県美展審査員
昭和59年 第1回小林和作奨励賞受賞 (尾道市)
平成7年 織田恭一・友宗杉徳二人展 (尾道市立美術館)

おだ西邸
尾道駅前海岸通り
TEL.(0848)23-6006

お話がいっぱい 因島おやこ劇場第27回例会
お話を聞いているうちに、いつしかお話を観る世界へと誘われてゆく……。
さあ、「心とからだ」をおもいっきり想像の世界に遊ばせてみましょう!!

ほんわか 楽しいお話の世界!!
因島おやこ劇場 08452-2-4166

5月30日(土)
低学年:14:30~
高学年:18:30~
芸予文化情報センター

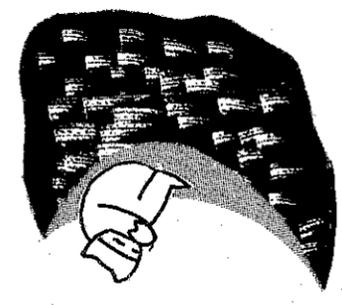


不連続空想非科学童話
宇宙シンボク(4)
辰巳 都



船団はひとまず僕のふるさとの星を目指した。理由は簡単だ。僕がそう願ったから。ふるさとの星が属する星雲からのシグナルに地球の科学者が興味を持ち、その電波を発信していた星を特定し、探査機を送りこみ、そこに知的生命の存在が確かめられ、そしてそこへ人類が到達可能となるのにおよそ四百年地球時間がかかった。六千光年の距離をどう埋めるかが問題だった。

僕はこうして、いま、確定した未来を語っている。なぜこんなことを知っているか?それを説明するには、かつてぼくの星で起こったことと、この惑星に到着した僕達が生きてきたことを語らねばならない。



僕達が地球に近づいたとき一番年若いもので六千歳だった。これは僕達がふるさとを離れた日を基準に、地球人に分かり易い表現でいえばの話だ。

僕達は光速度をこえて移動することが出来たが僕達の脱出を実行した祖先は、呪われた己が文明を自ら精算し、そのうえで子孫に望ましい文明の萌芽をもたらすには、然るべき間合いが必要と考えた。あえて光速推移を設定し、その記録にはある。地球人の細胞は「無量」という量を得た。そこでの光速は、遅速だ。ゆっくり船団は移動した。まだ見ぬふるさと地球へと。

町人口四千六百
大三島 九十四名(会五)
二千七十世帯

町人口二千四百
岩城 五十二名(会二)
九百二十三世帯

町人口八千四百
伯方 六十六名(会六)
三千二十九世帯

町人口二千三百
生名 十二名(会三)
九百七十四世帯

町人口一万三千
瀬戸田 十名(会一)
六百六十一世帯

本年の新生入生は北小学校十七名、南小学校五名、中学七名、南小学校五名、小学名、小学校二十一名、中学九十二名、伯方高五十三名、七名となっている。

本年の新生入生は保育所五十五名、幼稚園六十五名、2中学計十二名、生名中学校は二十四名、南小九名、瀬戸田中九十七名、生口中三十八名。



初夏の味覚をまんぞく、まんぞく。これぞ旬！
千葉県は館山市相浜から釣りたてのヒラマサが届いた。
体長75センチは10人の胃袋を満ち足らせるに十分。
老ingを楽しむには板前修業も必須アイテム？
Photo:橋本健治 23・May・98



老後を考えると そこにいる人、近づきつつある人 共に「本音」を聞こうや、語ろうや！

弓削通信七十三号に掲載した「弓削に老人ホームを創りましょう」という東京渋谷区の『社会福祉法人中都』の岡八代美さんの投稿に関して、いろいろ感想が寄せられました。(中都をめぐっては岡さんの出身地である弓削町中都の地名をとったもの)

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

弓削町では在宅介護中心の高齢者福祉システムの整備が端緒に着いたところ。岡さんもそのことは先刻ご承知です。「福祉」というものが「誰が誰のためになすのか」を考えたいとき、来年ホームの建物が完成し、さて自らの手でその海原に漕ぎ出でんとする岡さんにとって、理想の老人福祉にたどり着く手立てとしての地域の人たち、あるいは行政の考え方を考えることはとても大事な要件です。

同じ意味で「在宅介護」を推進する弓削町の行政(役所や議会)にとって、この地の人たちが「本音は何を望んでいるのか」を知ることが、とても大事なことでないでしょうか。残念なことに岡さんの提案に対して町内からの声はゼロでした。(いやこれからは沸き上がるかも知れませんが...) このことの意味するところは軽くはないと思います。言わず語らず心と心、いにしえ一世を風靡した歌の「老ing」なのでは？

【議会を傍聴しませんか】
定例議会は 6/26(金)
役場3階・9時からです

音楽と詩の朗読の夕べ
6月24日(水)
開場18:00/開演18:30~
瀬戸田町瀬戸田
ベル・カントホール
全席自由 一般2,000円
中・高生1,500円
小学生1,000円
主催:音楽と詩の朗読の夕べ実行委員会
共催:瀬戸田町商工会青年部・音訳グループ「やまびこ」
後援:瀬戸田町・瀬戸田町教育委員会

谷川俊太郎
ピアノ 谷川賢作
ボーカル 高瀬麻里子
ベース 大坪寛彦

因島おやこ劇場・低学年例会
7月6日(月) あまんじやくとらこひめ
時間 18:30~
場所 因島西浦開放センター
因島おやこ劇場
084542・2・4166

投稿「弓削に老人ホームを創りましょう」について
「意見」感想 お寄せください

《おたよりから》その1

弓削通信七十三号の岡八代美さんの提案すてきですネ。つい最近見たSF映画のせりふを思い出しました。
『二四〇〇年の現代には、お金なんてないのですよ。人々は「自分が他人になにをしてあげられるか。」その気持ちで満足させるために仕事をし地球連邦から生活を保障されていくのです。』
きつとこんな世界になることを祈りつつ...
K・T (今治市)

岡八代美さんの提案「弓削に老人ホーム...」。まだ無かったのなら考える価値が十分あると思った。「でよう会」という下地があるからいいもの(独創的なもの)ができそうです。
荒井一省(松山市)

岡さんの手紙の中の、親の財産の件。
読みながらインドの何宗派か忘れたけど『風葬。親の財産は福祉関係に。決してお寺にお宮に寄付したりしない』という記事を読んだのを思い出しました。
どうすれば、支えあえる社会が、すんなり一声かけられる地域が、つくられるのか。人としての原点のはずなのに、とても大変なことだと多くの人が思い込んでいるような気がします。興味深く読ませていただきました。
青木喜代子(因島市)

八代美さんのことは昔からよく知っている。夫婦とも一心におのが信じる道を突っ走ってきて今日がある。彼女の言動は地に足が着いている。夫の理解と協力も並大抵ではない。後年、事故で体が不自由になったにもかかわらず、必要なら役所にもねじ込んでいく夫あらばこそ。それにしても「女傑」と呼ぶにふさわしいよ。彼女は。
平山忠義(東京都)

弓削通信の岡さんの記事を読んだ感想を言います。これだけのことをさらりと語る人は私の周りにもそういません。とくに都会に住む老人が帰郷に必要な費用を寄付でまかなうとして、それを募る仕事を「私はこの役目をしてもいいと思ってる」と宣言しているところに感動しました。
人にはそれぞれやりうる仕事があると思います。岡さんは諸事多忙でしょうに、あえてこう名乗りをあげる信念に打たれます。私もささやかながら「手打ちうどん」で皆さんのネットワークづくりのお手伝いをしていきますが、あらためて「私はうどんでお役に立つやくめをひきうけます」と言います。
沼田英二(三原市)



弓削道鏡と 二文字を追って 探し当てた裏表紙

本田義幾

■消された「法王」

「法王道鏡」と縁起には記されているのに、その「法王」を隠し続けてきた道鏡ゆかりの寺が小田原の勝福寺である。勝福寺で発行しているパンフレットに縁起の初めの部分が写真で載っている。弓削道鏡と、道鏡の名前の上の文字が白い紙で覆われている。隣の行の文字の大きさからすると二文字分くらいである。なぜ隠されたのだろう、その文字は何だろう。その文字が分かれば、隠された理由もはっきりするかもしれない。「法王ではないか。よもや巨根とかの文字ではないだろうか」などと話し合ったことがある。縁起実物を見せて戴くことが手取り早い。

住職さんは気軽に、縁起の原文の複写を見せてくださった。写真にあった白い部分はなく、そこには「法王」の二文字があった。道鏡が法王になったことは事実なのにどうして隠されたのだろう。

縁起を撮影したのは戦前で、その写真をそのまま使っている。今も二文字が隠されたままになっているのだと住職さんは教えてくれた。

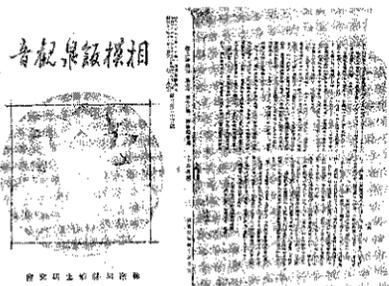
戦前は世を憚って、「法王」の二文字を隠したということになる。逆にその二文字を使うと何かがあったということである。

■切り取られた裏表紙

『郷土神奈川』（神奈川県郷土研究会発行）という郷土史の雑誌が昭和一八年一二月号で飯泉観音を特集した。勝福寺で戴いたその雑誌には裏表紙がない。どうしてか住職さんに訪ねたら、切り取られたと言った。なぜか尋ねても住職さんも詳しくは知らなかった。先代の時の事件だったようだ。どうして切り取られたかその訳を知りたくて、その雑誌に道鏡についてふれた論文を書かれています。加藤誠夫さんを尋ねてお聞きしようと考えた。論文の末尾に記された南足柄町関本という住所と会社員と記された職業しか手掛かりはなかった。第一古いことなのでご存命かどうか分からない。これでは無理としばらく諦めていた。しかし気になっていた。ので神奈川県立文化資料館に件の『郷土神奈川』の裏表紙の複写を依頼した。裏表紙がな



白裏表紙の雑誌



切り取られた雑誌

いのを知っていたのお願いであった。ところがなんと裏表紙があったのである。その裏表紙には京都の田中重久氏の論文を引用してそのまま掲載したとある。田中氏の論文はその年の七月号の『史迹と美術』（史迹美術同致会発行）に載ったものであると断っている。そこでその雑誌の田中論文を取り寄せて読んでみたら、引用された部分は「道鏡は天皇の血をひく人である」と書いてある。その表現が特高の目にとまって、切り取りを命じられたのではないかと推測した。天皇絶対主義の時代には許されないと考えたので、天皇制反対の動きを取り締まるためにつくられた特別警察（特高）が目をつけることとなったのであろう。

その時の様子をもっと知りたくて、当事者を探そうとした。裏表紙の表には奥付もあつた。発行者が石野瑛氏であること、神奈川県郷土研究会の事務所は金沢文庫であることが分かった。

県立博物館金沢文庫に問い合わせたら当時の加藤さんや石野さんのことは知らないという。どうしても加藤さんを探さねばという思いが再び首をもたげてきた。南足柄市のなるべく古い電話番号簿を開いて加藤と言う姓に全部電話するつもりで住所が関本とある加藤さんをメモしていった。

加藤さんは病気で寝ていて会話もできないほどであった。当時のことは奥さんもしらないとおっしゃり、結局切り取りを命じられたときの様子は分からずじまいだった。

雑誌発行に関してきつい取り調べはあったのだろう、裏表紙を切り取る条件で発行できたのだろう、裏表紙がないというへんな形だが、発行できるほうを編集者は選んだのだろう、と自分なりに結論した。

金沢文庫に行って調べたら同文庫にあったのは勝福寺のものと同じく、切り取られたものであった。

県立文化資料館に足をのびした。誰にでも手にとって見られるように書架においてあった。その完全本は何事もなかったように、裏表紙裏には編集後記もあった。

学究的な観光パンフ

町おこしの材料に事粗役共
欠く本町でも道鏡は粗協
末に扱われている。会班、光削
場産業班、観光弓削
編『たっぷりと道鏡
とパンフレットには、道鏡
靴に於いては、奇態ない
余話として奇態ない
ある。史実が否定。
内の道鏡伝説を道鏡ク
片やチンボ型道鏡紹介
キーはしって何ですか？
史実



宇宙シンボク (5)

辰巳 都

四月一日 火曜日 はれ
よしこ先生の授業はゆかいです。算数の時間なのにいつのまにか国語。音楽の時間なのに図画のことを言ったりするからです。きょうはこんなだったです。

「数がわかるのは人間だけだよ。もし3匹いた子猫を1匹かくすと親猫は探すよね。でもそれは3匹のイワシから1匹たべたら2匹残るのとおんなじ数の変化だとは猫にはわからないんだよ」

「みんなは3ひく1は2と、3匹の子猫が1匹いなくなったら2匹になるのが、おなじ数の変化だって分かるでしょ」皆、「うん」と言った。
「3-1=2という式は、だから言葉でもあるのよ。3匹の子猫のうち一匹いなくなりました、という意味のね」



「リンゴが3つあります。一個食べたので、残りは2個」よしこ先生は黒板にリンゴの絵をかきました。

「じゃみんな目をつぶって。しつもん。3ひく1は？分かるひと」

私は手を上げました。みんなも上げたと思います。音楽の時間のことです。先生は子守歌のレコードをかけてくれました。

「眠くなったからねいいよ。名曲の証拠になるから。そうそう一寸これ見てごらん」先生は楽ふを出しました。「音符でお眠りって書いてあるんだよ。いま聞いている音も、お眠りって言葉なの」

今治 五月三日野 岩城 五月十日村民運 大三島 四月二十九日 魚島 このたび完成し 因島 地元のレストラン

見つめる目、天間神社春の大祭
への。五月三日野
岩城 運動会&移動動物園でのスナック
五月十日村民運
の。錦蛇を首に巻いてご機嫌のコギヤルたち。おのこはシッポをこわごわ。へっ。

藤公園での藤まつり。一メートル
四月二十九日
このたび完成し
たモダンな高井
神第3村管住宅
と村民大募集！児童・生徒
と小四生の風船パレの写
真。白いネットをはさんで
歓声をあげている。ワッ！

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

長生きしたいは人の欲 そうはさせじの関がある

さる六月二十七日、第43回

「三原市母と女性教職員のつどい」というのがあった。同会は、子どもを生み育てる母親が、子どもたちの命を守り健やかな成長を願って、女性教職員と手をとり合い悩みを語り合おうという運動の高まりのなか一九五六年に発足した。(当日のプログラムより) 本来は男人禁制だそう

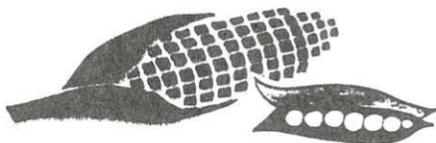
だ。三原市の若い篤農家から日本消費者連名事務局員の安田節子さんの遺伝子組み替え食品に関する講演の案内があったので、無知ゆえの恐いもの知らずはノコノコ出かけた。何名か男性はいたし、一方ではみんなやさしかったし、ちっとも恐くなかった。それにひきかえ講演内容は恐い話だった。

押し寄せ
ている

遺伝子組み替え食品

口の顕微鏡下で繰り広げられる遺伝子工学の発達は、異なる種の遺伝子断片を組み合わせることを可能にしたのだ。

現在日本に輸入され流通しているダイズ、ナタネ、ワタ、トウモロコシなどは除草剤耐性作物といわれるそうだ。例えば、植物なら何でも枯らしてしまう除草剤が散布された土中の微生物に、この除草剤に抵抗力を持つものが発見されると、その微生物から遺伝子を取り出しダイズの遺



伝子に組み込む。するとその強力除草剤でも枯れないダイズが出来るという。

害虫が食べると消化管を破壊してしまう毒素を持った微生物の遺伝子を組み込んだ害虫抵抗性トウモロコシ(殺虫毒素生成作物)は、作物自体が害虫を殺すので、農薬がいらない。だから環境にやさしい、安全、と宣伝される。

「安全」には二通りの考え方が

ある。一つは危険性が証明されなければ安全と見る立場。もう一つは安全性が証明されなければ危険と見る立場。

一般に前者は日本政府の立場、後者は欧米の立場といわれている。

日本政府は消費者の安全を守るための最低限の措置である遺伝子組み替え作物であることの表示の義務づけを怠っているそうだ。

と感じるようです。

今治市では傍聴席には外部から直接入れず、因島市でも似たようなものです。

議会の活性化には傍聴者の存在は不可欠。行政側も町民に政治にもっと関心を持ってほしいと『本気』で考えているなら、気軽に立ち入れる工夫もぜひ必要です。

一般質問

平山、土居、前田議員の順で一般質問を行いました。

一般質問は、本会議提案議題にとらわれず行政全般にわたる議員主導の政策論議の場です。質問者は質問の内容を事前通告します。つまり手の内を明かします。当然のこと受ける側は、質問の本意を

「正しく」解釈し、前向きな答弁をすることで議員を通じて一般市民の疑義に向き合う義務があります。しかし現実には「言い逃れ」「いいくるめ」的言辭が見受けられることがあります。行政は間違ったことをしてはならないという掟があり、それが間違いを認めたらがらない体質になりがちです。ふつうに考えると一

理由は食糧自給率40%、穀物自給率30%という農政の失敗。表示をすれば売れなくなる可能性が高いので日本の食糧の首根っ子を押しさえている米国に遠慮がある。

政府の顔がどちらを向いているかで国民の安全度は変わる。わが国の政府は自国民の安全よりも優先せねばならぬものがあるらしい。公害認定や薬害エイズの例を持ち出すまでもない。

先の大戦で国民の命を消耗品として扱った思想は、しぶとく生きつづけていると言わざるを得ない。

新種の食物の摂取がヒトにとって安全かどうかは最終的にはヒトが食べてみなければわからないはず。わが国民は人類が初めて出会う食物を情報もなく食べさせられ、人体実験を買って出ているとも言える。崇高なる犠牲的献身!

農業の衰退は作物を作る技術さえ失わせている現実にもっと目を向けなければならぬ。かつてこの国は立派に食糧自給ができていた。方法はある。私たちはどこへ向かっていくのだろうか?

般住民と役人との「間違い」の判定基準の温度差は法的な黒白ではありません。議員も『町民の望んでいる事をどのような質問に組み込めるか』で力量が問われるところだ議員平山の一般質問

(1)環境美化条例の周知運用について

昨年末、環境美化条例が制定されゴミの分別収集などは軌道に乗ってきたが、一例をあげれば犬猫のふんの回収義務や海への投棄禁止、買い物袋持参の義務など細かに規定されている条例全文を広報等でもっと周知徹底させたらどうか、というもの。答弁・「啓蒙につとめる」

(2)焼却灰等の残留ダイイキシン測定費用の適正化について

「廃棄物処理に係るダイオキシン類測定分析技術研究会」の会員会社が測定費用の談合の疑いで公正取引委員会の立ち入り調査を受けたことにかんがみ本町の委託業者と「研究会」との関係、外国に比べ高すぎると批判のある分析費用をどう適正化するつもりなのか、というもの。(裏面へつづく)

6月定例議会 見聞記 23

平成十年度六月定例議会は二十六日に開催されました。傍聴者はCATV二名、一般三名でした。事前に数件の問い合わせがあったのですが議場の敷居は、まだまだ高いようです。傍聴に行きにくい理由の一つに会議場の位置関係があります。弓削町の議場は三階にあり、そこに至るには庁舎内の各フロアーを全部通過しなければなりません。慣れない人にとっては監視される

平成十年度六月定例議会は二十六日に開催されました。傍聴者はCATV二名、一般三名でした。事前に数件の問い合わせがあったのですが議場の敷居は、まだまだ高いようです。傍聴に行きにくい理由の一つに会議場の位置関係があります。弓削町の議場は三階にあり、そこに至るには庁舎内の各フロアーを全部通過しなければなりません。慣れない人にとっては監視される



【1998年6月22日・ウィーンにて】日奥音楽親善団・ウィーン楽友協会ホールコンサートに参加した琴伝流大正琴弓削支部のみなさん。(写真提供・平山富士子さん)

(前面からのつづき)
 答弁・弓削町が分析委託している業者(東和化学)は研究会の会員。今後は国や県の指導を仰ぎながら適正化につとめたい。

(3)自治体における法解釈と議員倫理の確立について

これは、地方自治法九十二条の二に定めある「議員の兼業禁止」について、その企業内で幹部と同程度の発言力、執行力を有している者が議員である場合、その企業に自治体の業務委託や請負をさせることに理事者は法をどう解釈しているのか、というもの。

答弁・法九十二条の二は議員の守るべき規定であり議員個人の企業内での身分については私どもの解釈外である。

【参考】自治法九十二条の二 普通地方公共団体の議会の議員は、当該公共団体に対して請負をし、若しくは当該公共団体において経費を負担する事業につきその団体の長、委員会若しくは委員若しくはこれらの委任を受けた者に対し請負をするもの及びその支配人又は主として同一の行為をする法人の無限責任社員、取締役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人及び清算人たることができな

【要旨】議員が個人として地方公共団体の請負をしてはならず、また請負をする法人の役員等になることを禁じた条文です。目的は議会運営の公正を保障するためです。

議員が本条の規定に該当したときは議員の職を失うことになり、その判断は議会が行ないます。

【議員の兼業禁止】規定に関する判例には「法人の無限責任社員、取締役、もしくは監査役と同程度の執行力と責任を有する者に準じるかどうかはその会社における実態に即して判断されるべきである」「会社社長、顧問、相談役、監査役等と同程度の執行力と責任を当該法人に対して有する者はこれらに準ずべき者」に該当する」というのがあります。

三月定例会でも平山はこの問題をたどりました。そのときの理事者の答弁は「本町の請負をしている法人の役員には議員はいない」というものでした。法人の代表は議員名

議員提出議案(議員の兼業禁止に係る決議案)が全会一致で採択されました!

義ではないという、看板の問題にすり替えた答弁でした。善処を提案したのですが、その後同じような事態が繰り返されたので再度今般の質問になりました。議員自らが襟を正し自浄力を発揮できないようでは議会が町民の信頼を得られないと意見が一致しましたので、議員提出議案一号として「町議会議員の公共事業の請負契約対象外に関する決議案」を十名の連名で提出しました。全会一致で可決しました。

さて、一般会計の補正予算案に災害復旧費として一般財源から松原海水浴場に七百五十万円で砂を入れる予算が計上されていました。砂流失の因果関係の見極めと将来の展望抜きにこのようなタレ流しの費用の投入はもう認め難いので、一般会計補正予算案に反対。(今回は他の審議に関する報告は割愛します。)

(次については各議員にお問い合わせください。)

土居議員の一般質問

- (1)ゴミ処理について
- (2)緑ヶ丘住宅の管理について
- (3)老人福祉生活センターの利用状況について
- (4)弓削町ビックプロジェクトの完成年度はいつか
- (5)下水道処理施設の駐車場スペースはいつから使えるようになるのか
- (6)塩水温泉施設の設置場所について

七十三号に掲載した「弓削に老人ホームを創りましょう」という岡八代美さんの投稿に関して「おたよりから」その2

【老いてますます蘇る生き方】

前回の通信に掲載されていた、老いて共に暮らす、老人合宿の勧めは共感しました。あの記事を読んだ後、実際にそれをやろうとしている老人の集まりに参加する機会がありました。ヤマギシの特別講習研鑽会を受講した老蘇グループです。このお年寄りのすごい所は何でもすぐにやってみようとする所です。楽しいか・楽しくないか、しんどいか・しんどくないか、大変かどうかなんて、やってみないと分からない。やってみて、こりやつまらんと思えば、止めればよい という考え方です。自分らがやらねば誰がやる、という考え方です。60代~80代の老人のこのような生き方に触れると、本当に嬉しくなって私に元気が出ます。具体的に合宿の内容を決めるのも、猫をかぶって生活できるのは、1週間が限度だからまず10日でやってみよう、いう決め方です。全ての生活は自主運営とし、どーしても という時にだけ若い人の力を借りよう。というのです。私もこんな老いてますます蘇る生き方がしたいです。この合宿をやってみてどうだったかも気になる所です。

先日NHKテレビで島根県(?)の山村のお年寄り達が、共同生活を試みる番組がありました。町が共同住宅を建て月に一回一泊して、共暮らしの練習をしていました。一泊する事が大変なハードルのようでした。でもあのような体験をしながら、お互いを知り、一歩ずつ近づいていくんだなあと感じました。共に暮らす時代が嫌でもなんでも、やってきたのだとおもいます。 鎌倉

前田議員の一般質問

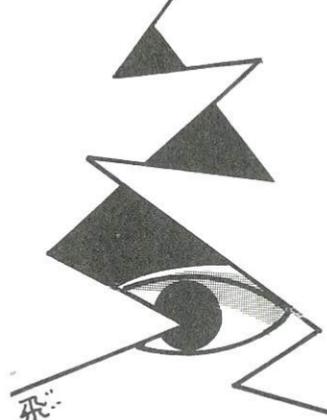
- (1)公営施設について
- ※(若者定住対策として低家賃住宅建設を考えてみたらどうか、など。
- 助役答弁・若者対策は、若いからといって特別扱いをすることは考えていない。自主自立先駆者精神旺盛な強靱な精神の持ち主の若者を期待している)
- (2)公用車の使用について
- ※(女子職員を運転手にした町長の公用車の使用状況、特に島外への送迎について、経費節減の観点からただしたのも。
- 町長答弁・特別の場合しか使っていない。仕事の段取りの都合上一番効率的な使い方をしている。仕事本位で使っているわけだがご意見として承っております)

※記・タイトルだけでは内容が想像できにくかったので注記しました。文責・平山

...歴史の真実を求めて...
 下野薬師寺別当
道鏡禅師展
 期日: 7/29(水)⇒8/2(日)
 10:00~17:00
 会場: NHK宇都宮放送局
 主催: 道鏡を守る会
 (☎0229-22-7364本田)

不連続空想非科学童話
 宇宙ジンポク(6)
 辰巳都

あるところに白と暗の闇がありました。暗闇の側に黒の狩人と呼ばれる男が、今は病の床についておりました。体は痩せ、節くれだっていた手も指もほっそりしなやかになっていました。白闇には白の、暗闇には黒い獣たちが棲んでいました。人も獣も、音と匂いと手触りで駆け引きをし、闇の中ゆえ目はしっかり閉じたまま、神経だけは逆立てて生きていました。



黒の狩人は違いました。彼は目をつぶることをしなかった。白闇と暗闇の違いを知りました。その結果、どちらの側でも狩りが出来るようになったのです。しかし多くの狩人仲間はその彼を憎んだのです。ある日、暗闇から放たれた一本の矢が、たまたま闇の境界にいた黒の狩人に命中しました。傷がもとで病の床についた黒の狩人は、看病してくれる妻の手を取って言いました。

「わしはもう戻れぬ。頼みがある。あの日、闇の境界あたりで妙なものを見たのだ。あれが気になってならぬ。わしが死んだら焼かずに埋めよ。わしは木の実をたらふく呑み木に生まれ替わろう」闇の境い目に一本の木が芽吹きました。木はやがて白闇と暗闇の境い目をメリメリとおしひろげました。そこにはきらめく丸い三角がありました。

★夏休み映画会★
 8/9(日) 因島市民会館
 ① 14:00から **ズッコケ三人組**
 ② 17:00から **ラヂオの時間**
 鑑賞券・シングル 950円
 ①と①・ダブル 1700円
 (または①と②) おやこ劇場

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

残暑お見舞い申しあげます。

毎年のことだが八月になると島の人口は倍増する。子や嫁、婿や孫がそれぞれ、の思いを背にやってくる。夏の民族大移動と呼ばれる。お盆だからだ。

日本は国としては国教を持たない無宗教の国だと言われたりする。が、こうして見るとなかなかどうして立派な仏教国だ。

盆暮れと言うように、年末年始にも民族の大移動が現出する。元旦には家族そろって日の出を拝み、神主の御はらいを受ける。なかなかどうして立派に天神地祇信仰を守っているといわざるを得ない。

▼魚島村長・佐伯真登氏(右)を表敬訪問(7.12)



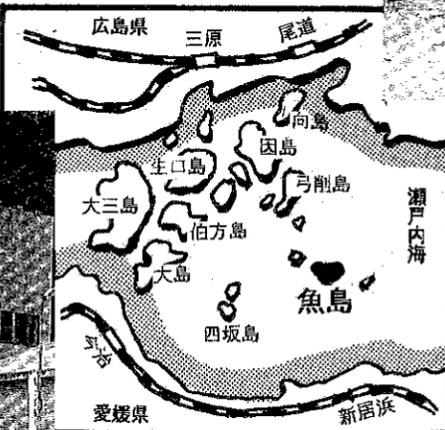
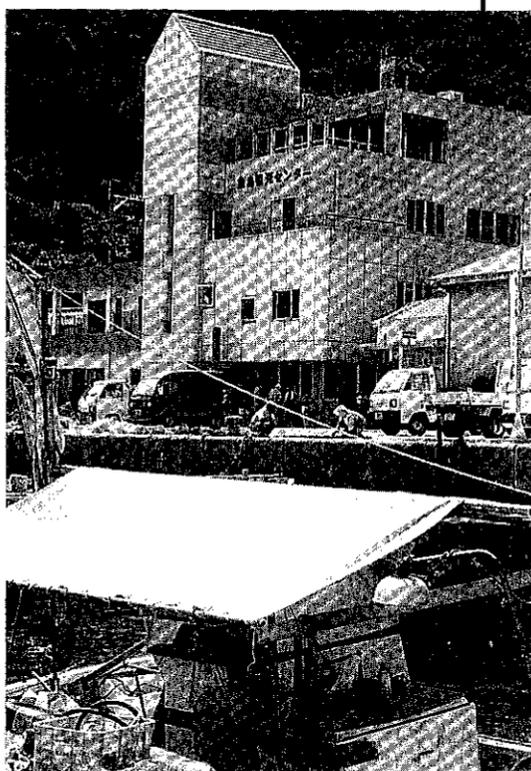
海をゆく・愛媛魚島

もしかしてご覧になった方もあるかと思うが、去る七月二十九日夜十時からNHK教育テレビで隣の魚島が舞台の『シリーズ海をゆく・愛媛魚島村』という放送があった。

一人の報道写真家の目に写った僻地漁村の現状、という持えのドキュメンタリーだった。たまたま子供たちと魚島を訪れていて取材班と一緒に当の写真家系川耀史氏と言葉を交わす機会があった。彼がこう語ったのが印象に残っている。

「この瀬戸内のご真中の小さな島に来てみますと、うしな

▼宿泊施設・魚島観光センター
すぐ前の港は漁船でにぎわう



大移動の引力島

日本人がかつて持っていた、そして今や失いつつある「生きる力」

われた日本人というか日本人がかつて持っていた、そしていまや失いつつある「生きる力」というようなものを感じます。都会的便利さはなくともちゃんとしていける、そんな逞しさです。なぜだかわかりませんが、多分、自然に囲まれ、自然と一体化して生活しているからではないでしょうか

「うしなわれた日本人」と聞いて連想するのは、周防大島出身の民俗学者、日本中をくまなく歩き、最近では佐野眞一が『旅する巨人』として著わしたあの宮本常一の『忘れられた日本人』という本を思い出す。本には瀬戸内の島から手漕の船で遠く対馬まで出漁していた漁師の話や『土佐源氏』で知られる山村を舞台にしたばくろくの物語などが活写されている。

消費生活の魅力

昔は田舎から都市へ出ていく者は、学に励み、ひとかどの者になって故郷に錦をかざらんと勇み出立した。苦学という言葉が成功者の勳章でもあった。都市での豊かな消費生活は「結果」であり、若者たちの後ろ髪はつねに故郷へ田舎へとつながっていたといえないだろうか。

大人達は子供たちを支え押し上げ、子らは田舎を引っ張り上げようとした。同じく子に尽くす姿でも、およそ昨今とは趣が異なっているように思える。そんな時代なら貧しくとも生きる力が国中にみまぎっていたらどうかは想像に難くない。

大量消費が美德とされた高度経済成長時代では、子らは初めから都市での消費生活を楽しむ目的で出立させられ、親たちは田舎は仕方がないと諦観している。そして大量消費が人間にとって間尺にあわ

ないことがはっきり見えてきたのに経済成長万能神話は相変わらず信仰されている。

漁業・自然の恵み

魚島は漁業の小島だ。魚が取れなくては存立はない。それなのに漁場である海は年々劣化し、漁獲量も激減し、昔なら見向きもなかった小魚も収穫物とされるようになったという。

番組の中で魚島村の佐伯直行漁業組合長は、こうした現象は構造的なものだと語っている。魚島村民の悩みの種でもある他町村の漁業者による協定違反、つまり違法操業、密漁なども、結局は日本社会の経済構造のゆがみが、法を犯す漁民の意識に反映していると思われる。

漁業はいわば自然の恵みをただ取りしてきた。やらざるぶったくりの思想だ。違法操業も密漁も根はその思想の延長上にある。いずれにしても自然の懐がさびしくなれば恵みは減るのが当然だ。漁民の意識改革こそ急務、と考える佐伯組合長は、身の危険をかえりみずひとり自主的に違法操業を見張るパトロールを続ける一方で、真鯛の稚魚を養殖放流することに情熱を傾けている。いったん海に放せば誰のものでもなくなることにこそぐエネルギー。自然を相手の気の遠くなるような取り組みをする者、支える者……。「生きる力」の最たるものだろう。

島は海でつながる

年に二度もある民族の移動が、都会の消費生活を見せびらかすだけの狂騒ならあまりにもさびしい。

魚島の人口約三百五十人。その約十倍が弓削島。そのまた約十倍が因島。いずれもが県境の隣島同士でそれぞれ村、町、市、制をひき共通の悩みを抱えている。

以下のように思う。故郷たちは連帯し、共に神仏を崇め、天を畏れ、倫理を確立し、互いに支え、おし上げあわねば、海は死ぬ。年の初めとお盆には、浮き草となりつつある日本列島を見つめよう。

夕涼みコンサート

藤井直樹の リュートのしらべ



とき / 1998年 8月24日(月)・午後7時より
ところ / 弓削町日比 **オノ木亭** (さいのきてい)

参加協力券・シングル 1000円
・ペ ア 1500円(前売りのみ)

主催 / 藤井直樹のリュートを聞く会
共催 / 因島おやこ劇場弓削サークル
連絡先 / FAX・☎ 0897-77-2569 (前田)
77-3072 (平山)

リュート奏者
藤井 直樹さん (37)
—オランダ・アムステルダム

福山市出身。小学生の時、父親からもらったクラシックギターが楽器との出会い。ギターを習ううち、バッハのリュート曲をギターで演奏することに疑問を持った。高校卒業後、オランダのハーグ王立音楽大学に留学し、リュート科を卒業。フランスのソルボンヌ大学で音楽史を学んだ。

リュートは中世ヨーロッパで宮廷音楽に用いられた「楽器の王」。形は琵琶に似た優雅さがあり、音はチェンバロのように繊細で透明感がある。人々がより音量のある楽器を求めたため、音楽の表舞台から姿を消した。「ギター」と異なり、一つ一つの音がはっきりして繊細。多様な表現



【プログラム】より
・イギリス民謡
・クリン スリープス
・ピバルディー・ラルゴ
・IS バッハ…シヤコンヌ
・Mモノ…愛の賛歌
・ギリシャ民謡
・聖書の歌
・日本古謡
…その他

《魚の味》

私は、最初の就職が関東局であったので大連に渡った。そのとき、太刀魚が好きだったので魚屋へ行ったら法外と言うほど安かった。大喜びで見事なのを買った。さっそくバター焼きにして一口食べて驚いた。予想外の不味さ。二度と太刀魚は買わないぞと思った。

その後、戦時中にビルマで林兼の支店長の工藤九朗氏から「魚の味は海によって変わる。メルギ海の鯛は、日本の明石や鳴戸の鯛に負けない」と色々と魚のことについて話を聞いたので、その後は食べ物のは産地で予想する。名前では決めないと心に言い聞かしている。戦後の日本人は昔からの流れで、何事にも名前に釣られる

る気風が抜けない。日本は島国で至る所、山紫水明、気候温和、人情豊かで、仁、義、礼、智、信が国民の信条として生きていて人間として世界冠たるもので、義に教い東洋人の中でも最たるものであった。そういう中で育ったので同じ名前の物で中身がこれほど違うなどは考えられなかったのだ。

人生雑感

世界は広い。名前に釣られてはならないと身に沁みて感じるようになった。日本は海国なので外国を見聞している者は多い。しかし外国に住み、他国民の物の見方、考え方の違いを体験したうえで、これを比較できる人はまだ多く

ない。純情一途の日本人は、海千山千の外国人との太刀打ちができるまでには未だ時間が必要であるようだ。外国からの文物の急激な輸入増により、国民は予想外の事故多発で混乱に陥っていると思われる事件が続発している。政治に、経済産業に、教育に…。

中身より名前に踊らされるようなのかな国民性は「鵜の目、鷹の目」の外国式に精神的ウィルスの如く感染されつつある。社会生活には外面はもちろんだ切であるが、中身のほうがより大切である。同形、同名、同鮮度でも味は別。飾り立てた料理よりも旨い料理の方が私は好きである。日本人は腹を据えて考える時期に来ているように、私には思える。

『市長のメッセージ』と呼ばれる未知の素材で出来た円盤が解読されたのは、それから五千年後のことだ。トッチベのコンコン山脈で古代文明の遺跡らしきものが見つかり、発掘物の中にそれはあった。おまけに伝説とされてきた地球からの探査機の残骸と思われる物も出土したのだ。それらが意味することは当初まったく不明だったが、僕には容易に想像できた。



宇宙船(ふね)が故郷に着陸した時、高度な文明の痕跡は何も見当たらなかった。海や陸があり、地球とほぼ同じ構成の大气も植物もあった。見たこともない動物が動き回ってはいたが、地球から送り込んだはずの探査機や、それが送り返してきたデータを裏づけるものを見出すことは出来なかった。それでも地球人は、もうそこを去る気は無かった。何世代にもわたり慣れ親しんできた宇宙船ではあったが、ふたたび広大な宇宙に乗り出そうと言いつつもは誰もいなかったからだ。

「私は市長だ。いよいよ私も最後の船に乗る。我々はどこに行くのか知らない。なぜなら今のこの星の言葉を知っている者が死にたえるまで我々は航海を止めないだろうし残る者は、全て死んでも、なおしばらくは他の天体からの来訪を寄せつけぬだろう。呪われた、最高の言葉だった筈の近代語…究極の言葉は…」
市長のメッセージ
宇宙船(ふね)が故郷に着陸した時、高度な文明の痕跡は何も見当たらなかった。海や陸があり、地球とほぼ同じ構成の大气も植物もあった。見たこともない動物が動き回ってはいたが、地球から送り込んだはずの探査機や、それが送り返してきたデータを裏づけるものを見出すことは出来なかった。それでも地球人は、もうそこを去る気は無かった。何世代にもわたり慣れ親しんできた宇宙船ではあったが、ふたたび広大な宇宙に乗り出そうと言いつつもは誰もいなかったからだ。



不連続空想非科学童話
宇宙シンボク(7)
辰巳都

- 大三島 稲の精霊と大一番。南北朝時代からの伝統行事
- 伯方 北浦のトンデ地。区に並の住める自然環境を残す
- 因島 万が一に備えた着衣水泳訓練が市内の小学校で行なわれている。ペットボトルを浮き輪がわりに水に浮く練習などをする。
- 瀬戸田 海の瀬戸田町と山の油木町とが姉妹縁組をし
- 今治 市歯科医師会を対象にした訪問診療を実施している。月・木、午前九時〜午後五時。役所でも相談を受け付ける。

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)



1998 夏の終わりの

舞台の感動「いっしょに！」

異常だ、変だと言いつつながら天の為すことには従うしかない。科学だ、技術だと誇ってはみても治水、治山という思い上がりは一晩で押し流されてしまう。それでも人間は懲りない。こりないから今の今まで命脈を保ってこられたのかも知れないが……

狭い日本で、あるいはその中の世間で人は様々に異声をあげている。しかしそれらはまるで月夜の田圃で鳴き交わすカワズのように一つの調和として在るに違いない。

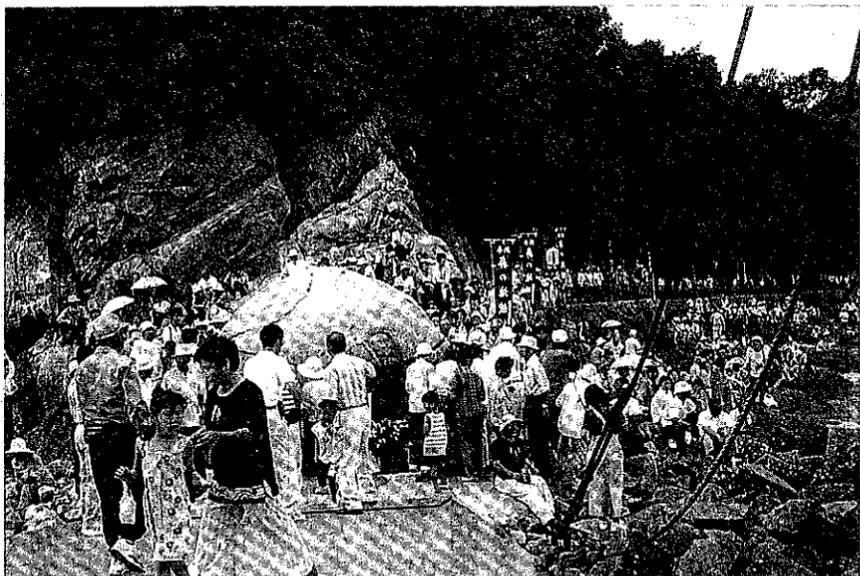
きたる十月三十日、因島市民会館で繰り広げられる舞台劇『今日、悲別で』という作品は、劇作家倉本聰主宰の北海道は富良野塾の公演だ。因島では過去『谷は眠っていた』『ニングル』を市民有志の主催で実行してきた。今回は三回目として日本、ニューヨーク、カナダでたくさんの人に大きな感動を与えてきた舞台が、完成された姿で市文化協会と他の市民有志の協力のもとで公演される。

倉本氏についてはTVDドラマ『北の国から』などの作者として知らない人はいない。彼の発する主張は明解だ。我々は今のままでいいのですか？あなたは自分たちが持っている「生きる力」を自覚していますか？あなたは自分が幸福になるために必要な大

先日は「理想の学校作り」への署名を戴き有り難うございました。現状の公立学校において自分が理想とする教育(学育)を目指してやってきました。私がヤマギシに関わり始めて六年、子供をヤマギシズム学園に送って五年になります。もちろん、私より前に始めた人たちもいました。子供たちを地元の公立学校に通わせてきました。学園の親達がみんな私と同じ考えではないと思いますが、今の学

人が元々持っていた筈の 生きる力

切なものを見失っていませんか？
音楽会にしろ舞台劇にしろ一人の、あるいは何人も人間の血のじむ修練の結晶を披露する場だ。だが概ね田舎では催し物は只か、ただ同然で提供されて当たり前のようになっているフシがある。自分の精神の糧を自前でまかなう気のない人には言うべき言葉をもたないが、惜しいコトだ。
今度の機会には、より多くの人に、目も眩むようなダイナミックな舞台をぜひ体験してほしいと、そして「世間」の未来について共に考えあう機会が持てたらいいと、実行委員の一人として心から念願しないわけにはいかない。



因島三庄 鼻の地蔵四百年祭
潮の引いた地蔵尊のすぐ近くまでフェリーを乗り付けてお参りにやってきた。(8/29)

校のあり方や先生達との一致点を見つけ、あくまでも「子供たちにとって」を考えてやってきました。五年間やって思った事は、

(かたぢのなにかたち？ありかた？) 大人の意識が変わったり、学校が変わったり、待っている間に子供たちは大人になってしまふのです。

『理想の学校』を作ります

「子供達は待ってくれない」と言うことです。確かに今の学校を変えていく力がないと言えはそうとうです。私がつくっている社

今、理想の学校を作ろうとありますが、この学校でさえ我が子には間に合いません。特別なカリキュラムや、特別優秀な先生がい

夏の終わりの ハーモニー

うねる波 乗り越え乗り越え抜き手切るは 老体脱けたるわれの幻

異風

臍は腹のあくぼのつもりか乙女らは臍笑はせて街を行くなり
上げ底の靴にて高だかど行くなれば割引てみむ心の文(文)も
流行に乗れば何の恥かしや下着衣装(装)キリル(ル)に街を浮遊す
腰元の締めりの無きが流行(流)にてだらしなスボンの若者連れだつスタイルも仏頂面も画一の長髓族(族)ら地べたに坐る
傾(傾)き者乱世の活力たりしとてまた待まむや若きの異風

忠義(七五歳)

仕事より楽しみ知らぬ母に梅雨
触診の生真面目な医師 濃紫陽花
あの世とこの世を往来せる蜚かな
天地に御母ひとり朴の花
夏帽子男のやうな鼻持ちちて
凌霄花 母様呆けてしまひけり
静可(五六歳)

居眠りを世界にお知らせ龍太郎
録音で鐘もならずと糞坊主
朝寝して坊主テープで経流す
前歯欠けウドンも缺で食っている
公開の分だけでたらめ内申書
責任をとらぬ順序で偉くなり
見つからぬうちに叙勲で胸を撫で
天降る下から狙撃してみたい
竹島を見ないふりしてゴラン行き
豊幸(七六歳)



会ですが異質なものの、価値観の違いは、差別教育や平和教育では解決しないのです。人の心のかたちです。

なくても子供たちが生き生きと子供らしくある学校と言う環境を用意していきたくないので。出来るだけ多くの人たちと一緒に「理想の学校って何だ！」と言う事を考えていきたいのです。

それには私自身が困いを持たないで、かたちを持たないで無固定でいる事かな……と思うのですが……気付くと、けっこう頑固な自分だったりします。

……おたよりから……

人が元々持っていた善の、体の中にある本来のエネルギーとは...?倉本聰が贈る熱い感動のメッセージ!!

シンプルなセットの中で目をみはるほど映像的なステージ。そして心に響く生身のエネルギー。'97年秋、カナダ公演で高い評価を得た話題作。

因島市民会館大ホール

10月30日(金)・開場6:00PM/開演6:30PM

■チケット:前売券~S席 4,000円 A席 3,000円
当日券~A席 3,500円

■発売所:因南地区~因島市文化協会 ☎08452-2-6565
因北地区~青木 ☎08452-4-0103

主催:因島市文化協会
共催:因島市生涯学習フェスティバル実行委員会
協賛:㈱三和ドック、万田発酵(株)、ヤング産業(株)因島工場
後援:因島市教育委員会、瀬戸田町、弓削町、生名村
総合お問い合わせ先 ☎08452-2-6565
☎722-2323因島市土生町88-1 因島市民会館内

弓削・問合せ先
☎77-3072
弓削通信・平山
チケットあります

【作・演出】倉本聰
【出演】富良野塾
【特別出演】羽鳥晴子

今日悲別

きょうかなしべつで

富良野塾公演 1998

富良野塾生と語り合う倉本聰氏(中央)
『今日悲別で』パンフレットより



写真提供:新報社フォーカス/撮影:阿部幹雄

【物語】炭坑の町「悲別」で。閉山の坑道に残されたタイムカプセル。その中には《希望》が入っているという。三年後、再会を約束して集まった仲間は一人居りだけだった。取材記者を加えた若者三人はタイムカプセルを探しに立入禁止の坑内へ入り込み、突然の落盤に閉じ込められてしまう。脱出の望みが失われた彼らの前に、探し求めたタイムカプセルが...。その中から出てきた《希望》とは...

祈りの火祭り

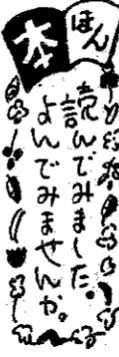
【奉修採燈大護摩供】 ~世界平和祈願~
平成10年11月15日(日)
午後1時より3時まで
上弓削中田組社宅跡地

「験乗宗弓削行者会」は、昨年11月に結成したばかりの小さな会です。当日は広島、呉、福山、因島などから行者多数が参加し、町内では初めての『採燈大護摩供』および『火渡り式』が身近に体験出来ます。イベント実行にあたっては、希望者から1本300円の添護摩志納料(そごましのりょう)を申し受け、この大切な浄財をイベントの諸経費として全て町内商店にて使わせていただきます。皆様お気軽にお立ち寄りいただき、町おこしの一助になれば幸いです。

- 主催:験乗宗弓削行者会 事務局 ☎0897(77)3815
- 協賛:弓削町観光協会/弓削町商工会/験乗宗総本山光明寺

田村豊幸さんは日大医学科卒の医学博士。専攻は臨床薬理学ことに副作用予知学。大正十一年生。日大名誉教授、日本毒科学会評議員をつとめる。さにあらんか一般向けの著書に『薬でどどん悪くなる』など薬づけ医療を批判した毒のある著書多数。さらには不当にセックスシンボルにおとしめられたとされる奈良時代の高僧・道鏡の名誉を回復すべく『道鏡を守る会』の会長でもある。使い方で毒にも薬にもなる物質は毒薬と呼ばれる。昨今その悪意ある使い方で人間の卑劣さの新記録に挑戦するかのとき事件が相次いでいる。氏の毒舌にかかれればこの犯人共どのように表現されるだろう?

その田村博士の新刊に『密教看病僧の隠医术』(98年9月)がある。難病だった孝謙天皇を性瑜伽と薬草療法を巧みに併用して治療したのではないかとの仮説を述べたもので性と医療の関係に関心ある方には一読の価値がある。頒価一部千円にて弓削通信に僅少部あります。



議会を傍聴しませんか
9月24日(木)
9時から
弓削町
定例議会
役場3階です



これも記録の解説で知ったことなのだが、故郷には多くの同胞が、呪われた近代語を精算するため、決して殖えないうとの定めのもとに残り、船に乗り込んだ者も同じ目的で我と我身を隔離した。二つの場所の距離がどれほど拡大しつづけようとも、未来に期待する思いは共有された。

宇宙船(ふね)の運行は古代語のみで育てられた若者があたり、未来は彼らに委ねられた。未来を託された者達にとっては、だから宇宙船は紛れもないふるさとだった。ふるさとを捨てる為のふるさと、いや、ふるさとを捨てるためのふるさと。



いつ終わるとも知れぬ宇宙空間の旅では、年齢にも殆ど意味がない。そうした訳で旅路の始めに年齢を個々の能力を図る目安にすることをやめた。生活に必要な知識や技能は、習得可能な智力体力が備わりしだい教授した。早い遅いは何の不都合ももたらさなかった。誰もが能力に従い様々な任務についた。

第一線を退いた者の一部は発育盛りの者の教育にもあたり、その者が命の終末を迎えれば感謝の衣にくるまれて宇宙葬に付された。

僕達はくりかえし生きつづけた。知識と知恵はそのつど濃縮の螺旋を登っていった。そして、僕達もまた、究極の言葉を手に入れたのだ。呪われざる最高の言葉を。

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

海水温浴施設整備事業は継続審議

議 会 見 聞 記 24

9月定例議会

今年度一般会計補正予算案に海水温浴施設整備事業として二千二十六万五千円が計上されていきました。この件に関する全員協議会の結果、議案を文教厚生委員会に付託し継続審議とすることにし、この予算を除いた補正予算案が通過しました。文教厚生委員会は委員長・土居、副・上村、委員・泉、越智、の各議員。温浴施設建設で議員が(慎重派、反対派あわせて九名)問題にしているのは「この場所だと弓削ロッジの客を奪うことになり採算性を軽視している」「借金の返済や運転資金がさらに町財政を圧迫する」「コストの試算をはっきり言わない」などです。

一般質問には土居、平山、竹林、前田議員が立ち

土居議員の質問

(以下カ)

1、町内道路の表面が悪い。特に老人が老人車を押して生

場所の問題

コストの町財政への影響

活道路にしているところは早急に是正する必要がある。(パトロールや地区の要望にしたいが予算をにらみながら適切に対処したい)

2、町営住宅の管理、建て替えについて要望してきたが江尻地区の住宅も相当ひどいと聞く。現状をどのように認識しているのか。

(築後三十年を経て指摘の通りの所もある。壁の塗り替え等出来ることをやっている。大改修するには財源が無い)

3、こんど上弓削に出来た離岸堤の必要性について。

(防災の見地から必要であり現在の形になったのは地質調査と濁りの発生に関して考慮した結果だ)

4、海水温浴施設建設の進捗状況は。

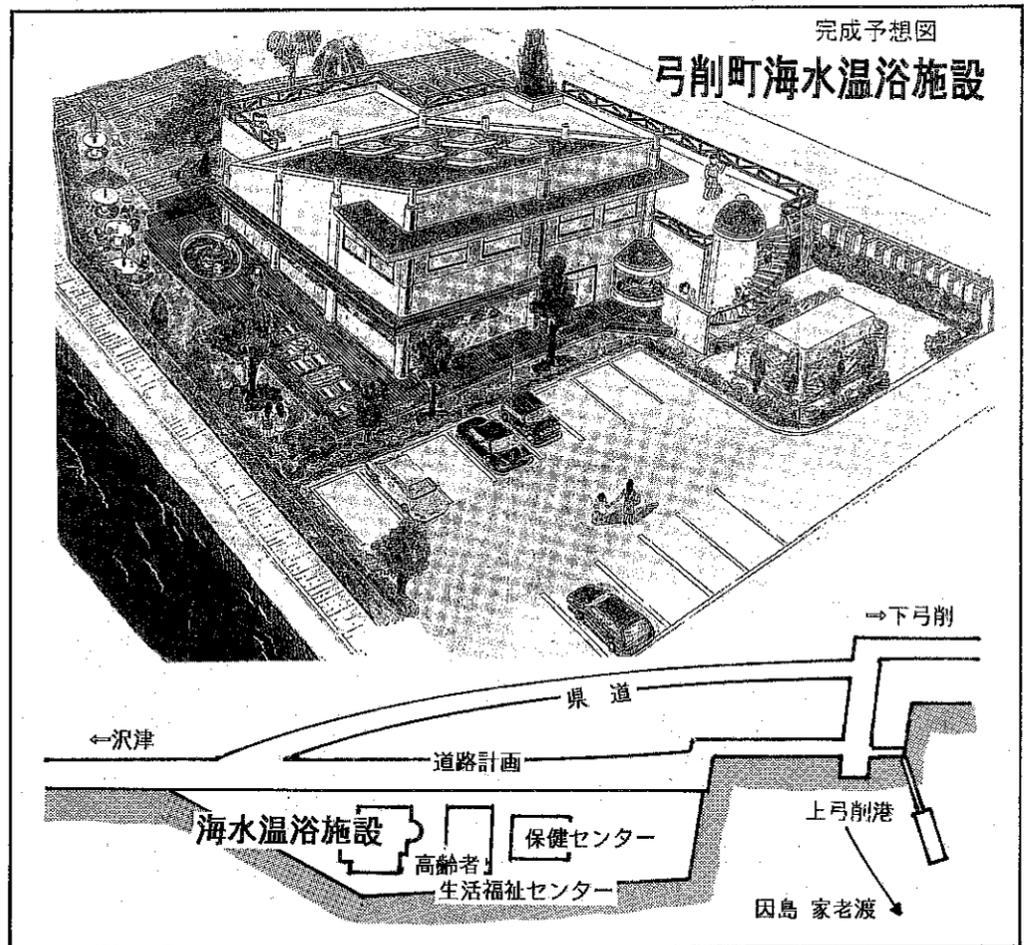
(十一月下旬着工予定だ)

5、明神フェリー発着場の駐輪、駐車場の確保は。

(現状の混乱は利用者のモラルの低さにも原因の一端はある。全てを満足させるのは難しいが少しでもよい方向にたなお真剣に研究努力したい)

竹林議員の質問

いま鎌田地区には定期的に島外搬出される予定の不燃物や粗大ゴミ等が一時置きさ



れている。今後長期にわたってこういう状態が続けば地区住民の安全や景観、不法投棄などの問題が出てくる。(適地が無いのでやむを得ず現状になっている。対策については検討中である)

前田議員の質問

1、佐島婦人消防協力隊は人員確保で悩んでいると聞く。また年俸、補償も無い。隊の編成を町全体で考えたかどうか。また消防団に組み込む考えはないか。

(佐島婦人消防隊は任意のボランティアと認識している。補償については、消防団の指揮下での事故等については消防団規約に基づき補償される。団員に組み込む考えはない)

2、海外視察研修について子供達にホームステイを体験させたかどうか。

(目的は十分承知しているが問題が多く迷っている)

3、佐島農業集落排水事業の工事現場で道幅が狭く危険な箇所がある。

(危険防止にガードレールを付けている)

平山の質問 (要旨)

1、弓削町リゾート構想の見直しと環境保全の取り組みについて。

バブル期に策定された構想を早急に見直し、構想の中にあつた施設や工事を具体化するな。また開発で失われた良好な自然環境を取り戻す研究に取りかかったらどうか。

(リゾート構想は県の構想でありその中に弓削は組み込まれている。弓削町だけでどうこうすることは出来ない。現在着工しているものや出来上がったものはそれぞれ単独の事業であり弓削アイランド21構想の中にある施設というわけではない)

2、弓削商船高専の大学相当校への昇格に関し地元として積極的に運動したらどうか。(重大な関心を持っているが学校当局ともよく協議する必要がある)

議会傍聴者は相変わらず少ない。ケーブルテレビでの実況中継も機会あるごとに要望しています。が、視聴者の声が何より威力を發揮します。議会にどんな局に要望書を送りつけましょう!

平成十年度九月定例議会は二十四日午前九時から開催されました。会期は二日間。

九月定例は前年度の決算認定です。一般会計は十一の事業会計の審議及び認定が行なわれました。

また今年度の補正予算案五件、条例案一件、規約改正案一件、意見書採択二件、人事案件一件が上程されました。内容、結果については来月の広報誌で報告されます。人事案件は任期満了による教育委員の同意。投票の結果賛成多数で中野敦志氏が同意を獲得しました。

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

もと魚島僻地診療所長菅井健二医師は、つづく長崎県五島列島の枕島をへて現在宮崎県延岡市の島浦島、市立島浦診療所の所長である。

東南アジアでのコロンボプラン専門家、北アフリカ・中近東での海外企業現場診療所の開設、中南部アフリカでの外務医務官、中南米での外務医務官、南極観測隊の船医など文字どおり地球を股にかけての前半生。

そして退職後の後半生はかつての体験をふまえての僻地医療の充実に向けて最先端の現場つまり離島での知識、実践両面での医療のポトムアップに尽力されている。

いま本町にはいろいろな形の福祉施設が建設され、あるいは計画され、高齢化社会に向けての施策が進んでいる。しかしこと医療機関の充実に関してはなぜか隣の因島の病院をあてにした島部消防救急

高齢化社会だからほしい安心 『医師の行きたがらない所にこそ医療が必要』



望んで離島へ
島のお医者さん十年目の
菅井健二先生(74才)

菅井医師の実践は多くの示唆を含んでいます。

今号から数回に分けて氏のエッセイを紹介しますが、これらは氏が医学部を出て(東大・一九四九年)来年五十年になるのでその記念号のために綴られた草稿や、他の冊子に発表されたものを了解を得て転載するものです。

いま弓削町に何が望まれているのかを見つめるきっかけになれば幸いです。

- 日頃地域のリーダーとして団体や住民から受ける相談は何かという設問に留意されている回答としては、就職進学結婚の上、冠婚葬祭へ出席近所のもめ事、事故処理、金融公営住宅保育園、施設の行政サービス、補助金道路・公園等の行政サービス、が用意されていた。あるいは、
 - 支持者の息子の就職を頼まれたらどうするか。
 - ある会社の人事担当者として恩人の息子が2番だったら試験での1番を採用するのか恩人のをとるのか。
 - 支持団体での肩書きは。
 - 議員の仕事で最も重視しているのは、個々の住民や地元の話、特定の地域組織の利益、政策実行、政治的主張、行政活動の監視、などなど。
- 設問のごく一部ではあるがこちらにも肌寒いなあ。(平)

艇システムをもって事足りるとして見るかに見える。

僻地、ことに離島にあっては「医者」の存島がどれだけ住民の「安心感」に寄与することか。不安を体験した人には切実な問題だ。

自分がその状態になってみなければ、いわゆる「ありがたみ」が判らないのでは(誤解を恐れず言えば)「いまだきの人間として想像力において失格と言わざるを得ないのではないか。何のための高度情報社会なのだと思うからだ。

親から子へ、子から孫への知恵の伝達が、人間だからこそ歴史に学び、いやもっと身近くいえば自分の体験をよりどころにして、多くの情報を参考にしつつより高度に、そして精神的に充実した内容でなされないのであれば科学技術の進歩は我々を極めて少数の支配者と多数の被支配者という二極分化へと追いやる結果になるに違いない。すでに兆候はある。

政治家像

先般県内M大学社会調査室が実施した「市町村議員アンケート調査」に協力したが設問を見ると議員という者が概ねどう見られているかがほの見える。

(大体アンケートに回答の依頼をするにあたり調査の目的、調査結果の取り扱い等を明記したものを添付しないような調査者に目くじら立てるのは愚か。しかしそれが最高学府のとなると肌寒いなあ)

たとえば、

離島医雑感

あったかい ころ
つよい からだ



延岡市立島浦診療所長
菅井健二

へき地医 vs. 都市医 (その1)

島野浦、日向灘の離島、といっても九州本土から東へ僅か6km、高速艇で10分、フェリーで20分。それでも台風が続くと船便が欠航するので新聞、生鮮食料の搬入も途切れる。

新聞が来なくてもTVがあるので(ただし、市内に普及しているCATVは本島にはない。日常必要とする文化内容の分野における格差を放置する市行政に私は反発している) 情報を知ることができる。又、水産加工が盛んな港で冷凍の考えが発達しているせいで学校給食センターは無論、余裕のある家庭には冷蔵庫の他にそれなりの容量の独立した冷凍庫がある。台風で襲われ2、3日海上交通が断絶してもさして困ることはないと思うのだが(因みに火葬場はない) 対岸の北浦町と架橋しようという運動が浮上している。

内需拡大・景気浮揚等の政府方針に同調して地域グループが市会・県会・国会の政治家を呼んで適時集会を開いている。都市に進出した子供等からお呼びが掛かるが住み慣れた島を離れる気持の無い孤独で諦観の内に日々を送る老人層や、やがて就職して島を去る若い年代の関心はうすく、一方、島で一生を終る中年層の関心は高く、様々な憶測、とらぬ狸の皮算用が先回りするようになる。その一つは、県下第二の地方都市延岡のベッドタウン構想である。

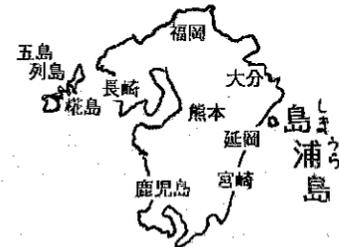
本島には台風にも壊れないブロック建設の空き家が沢山ある。家主は島外にすんでいる。橋が出来て島浦町がベッドタウンになれば高く売るか貸す予定らしい。医師用の宿舎にと売却を求めても、市の買値は安いといい、賛成してくれない。従って診療所は職住一体の旧体制の俣だが、後任医師の為に職住分離体制唱え、市役所に医師宿舎と診療所の新築を勧告しており、私の任期が終わる2年後にはそうなるものと思う。

私の持論は、元来豊かな生活とは、都市・田舎の二重生活を両立させること、言わば二元論である。

都市のアパートやビルにオフィスを持ち、そこを起点に仕事に熱中し、学舎に通い、或いは優れた施設で新技術を習得する。片や田舎の別荘で心身の保健に努め、都会の熱気を冷まし、都市で費やす事になるエネルギーを貯えて暮らすのが、健康上そして余生の長寿を楽しむ上で至上の方法と考えるからである。

私の持論は、元来豊かな生活とは、都市・田舎の二重生活を両立させること、言わば二元論である。

都市のアパートやビルにオフィスを持ち、そこを起点に仕事に熱中し、学舎に通い、或いは優れた施設で新技術を習得する。片や田舎の別荘で心身の保健に努め、都会の熱気を冷まし、都市で費やす事になるエネルギーを貯えて暮らすのが、健康上そして余生の長寿を楽しむ上で至上の方法と考えるからである。



広島市在住
協山 功

遠き四国山脈

冬の朝ピーンと張りつめた大気の向こうに、真っ白に雪をかぶった四国山脈が青白く、神々しく輝いている。

私は、冬になるとよくその風景を思い出す。弓削町豊島で生まれ育った私は、幼い頃から家近くの小高い丘に上ると高井神島、魚島の向こうにある四国山脈を見るのが、好きだったのを覚えている。

中学生になると、郵便船うおしま丸で弓削中学校に通学をした。その船上から見る四国山脈は、特別神々しく見えた。

この数年、その神々しい四国山脈を撮影しようと何度となく冬の早朝に、野呂山・筆影山・向島・因島・弓削・伯方などへクルマを走らせた。だが、思いのような写真が撮れない。

それは、空気が汚れて、昔のような大気の透明度がなくなったのか、または記憶がより美しい風景を創り上げてしまったのであろうか。

* 塩飽諸島の旅 *

弓削商船
洋上講座

平成十年度の弓削商船高専練習船弓削丸による洋上講座は十月十日、十一日実施された。

『中世瀬戸内海の海民の生活』についてがテーマで、川之江市の「紙の博物館」、塩飽諸島の本島(ほんじま)にある「塩飽勤番所」を訪ねる航海だった。

航海中はしつかり勉強があり、タイムトラベルして学生時代に戻れる特典がある。今年の受講者は十二名。因島から三名、三原、岩城から二名づつ、今治、伊予三島、大三島、西宮、そして弓削からは各一名づつであった。

地の利がある弓削の参加者がすくないのはとてももったいない気がした。

講師のひとり山内譲氏(専門は日本中世史)の著書『海賊と海城(うみじろ)』のなかに「水運の島・讃岐塩飽」という章があり、次のようなくだりがある。

よく晴れたある冬の日、調査のため登った大島(能島村上水軍の本拠地能島の隣島)ホンジョ山の頂からは燦灘のかなたに笠岡諸島や塩飽諸島

の島影が望めた。芸予諸島と備讃諸島は海を交通する目で見ればこんなに近いのか！自分が陸の生活者の先入観にとらわれていたことを知り

『海の生活者』の視点から前近代の海賊と塩飽との関係を見直す必要を痛感した、と。周防大島出身の宮本常一著の「瀬戸内海の研究」のなかには大島東和町の「森」という所に宝王神社があり伊予の国弓削島の法王宮から勧請された、という記事があった。

この意味することは何か？洋上講座が終わったある日弓削島からも本島が見えないかと、弓削北端の三山(みやま)に登った。そして件の方向に双眼鏡を当てた。先日その前を船で横切った坂出の瀬戸大橋が視野に飛び込み、手前にはだかっているのは塩飽諸島の広島にちがいない、本島(ほんじま)は、その陰になっ

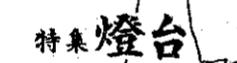
てはいるが、ありありとイメージできた。海の道は最短線。先祖達は己が腕力、板子一枚をたのみその道を縦横に馳せ、まことにエネルギー玉だったのだ。

双眼鏡

『せとうち風光』の見事な出来映え

▼弓削町出身で広島で活躍中の協山功さんの季刊誌「せとうち風光」第二号・特集燈台が刊行された。一号に続き意欲的な構成で今号はことに美しい▼燈台と聞いて

各人の描くイメージは様々だろうがいま閉塞感のつよい世の中、なかんずくふるさとの島々にあつては、かつて瀬戸内の海を往き来した人々の安全を願って築かれ、風雪を耐えて守られてきた燈台の灯は、極めて象徴的色彩を帯びている▼写真のみならず添えられている論文はそれぞれ一流の執筆陣で格調高い▼一人でも多くの人が彼の仕事を応援することを願う。そして我らが瀬戸内海を再発見しよう！▼次号は十一月刊行予定の「森と海をつなぐ河川の役割等」▼定価は税込みでわずか五百円。広島市中区光南2-2-6瀬戸内風光研究会 TEL:082-241-0000



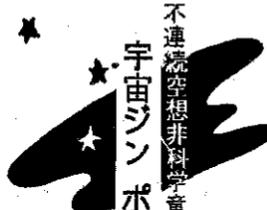
特集 燈台

「おかしいな。あいつどこへいっちゃったんだ？」
農夫はびっくりしてつぶやきました。たしかに風変わりな少年と話をしていた善なのにその少年が消えたのです。
「夢でも見ていたのか」農夫がそう思うと「おかしかったら笑えばいいよ。夢じゃないよ。僕はここにいますよ」
どこからか声がします。いやそれは声というより、そう聞こえたと言ったほうが正確かもしれません。あたりには農夫以外には誰もいなかったのですから。
「誰だ？どこから話しているんだ？」
農夫はおしげづきながら見回しました。



飛

「ここだよ、おじさん。おじさんの足元：おっと気をつけて！急にあるかないで！」
言われて農夫が足元を見ると、そこに一匹のアリが小石にもたれてしきりに触覚をうごかしていました。
「蟻が？」農夫がそう思うと「そうだよ。ぼくだよ。でもぼくは蟻じゃない。ぼくはポクだ」
思ったことへの返事がすぐかえってくるので農夫は少し気味が悪くなりました。
「気味悪がらないでよ、おじさん。ちょっと僕の話聞いて力になってほしいんだ：」
アリなんかとなぜこんな問答が出来るんだ？農夫の心にはだんだん恐怖心をこえて好奇心が湧き出してきました。



不連続空想非科学童話
宇宙シンボク(10)
辰巳 都

平山郁夫美術館企画展「シルクロードの至宝」協賛コンサート

「ユーラシアへの旅情」

1998年11月22日(日) 開演/午後2時

ベル・カントホール

【入場料】全席自由席(税込)
●3,000円 ●2,000円 (当日500円増)

●主催●
ベル・カントホール公演実行委員会・平山郁夫美術館・中国新聞社

●後援●
瀬戸田町・瀬戸田町教育委員会

※「平山郁夫美術館」の入場券とセットになっています。



オドバル



三木 健爾



三木 登志江

- 今治** 市民の声を聞く
市立図書館では開館前後に申し込みをいたしました
- 因島** 市立図書館では開館前後に申し込みをいたしました
- 瀬戸田** 九月定期議会では平野議員が任期が迫った柴田町長に二期目の出馬意向を問う。それに対して、今、明言できないのが残念の答弁。氏の原因による綴張を新調。
- 伯方** 県立伯方高校創立五十周年の記念式典が十月三日、約五千六百人の卒業生、十期生の笹野勝将総務十、民生十一、衛生五、消防三、その他
- 岩城** 平成9年度決算歳出の主なもの農林水産二十%

弓削通信

発行者・平山和昭
〒794-2509愛媛県
越智郡弓削町土生
318-2 FAX&電話:
(0897-77-3072)

十一月十六日に臨時議会が召集されました。議案は町条例の一部改正と、先の九月定例議会で継続審査になった一般会計補正予算(海水温浴施設関係)審議です。結果は『広報ゆげ』十二月号に既報されましたので若干の補正にこめま。

世論に背を向け何が世間の代表ぞ

議 見 聞 記 25

町条例の一部改正は本年十二月一日から施行される特定非営利活動促進法Ⅱ NPO法と略称される、に整合させるため、弓削町税条例のなかに必要な箇所に「非営利活動促進法」という語句を挿入したりしたものです。

阪神大震災に際しボランティアの活動に目を見張るものがあり、こうした善意の市民活動や市民運動をより促進していくため、市民団体等に法人格をあたえ、税制優遇措置や行政からの補助金を得やすくし、市民団体等の活発な活動を期待するため、市民団体にとっては極めて困難であった法人格取得の規制緩和のひとつです。もっともこの法律とて市民団体の粘りづよい運動と要求の結果で、けっして国

の意識が向上した結果ではありません。さきの震災時でも外国からの速やかなレスキュー隊の応援申し出をなんだかんだと手続き論を言い始め、被災者を長い苦しみのうちに放置したことは記憶に新しいことです。

諸外国ではどうの昔に実施されていることなのですが、わが国のものは内容的にまだ問題があるとも言われます。

国民一人一人のなかにボランティアに対する正しい認識が定着しておれば法律も、或いは諸規則の運用もそれなりに対処されうるわけで、わざわざ法律を作らなければならぬところにはわが国の未開性が現れているとも言えます。

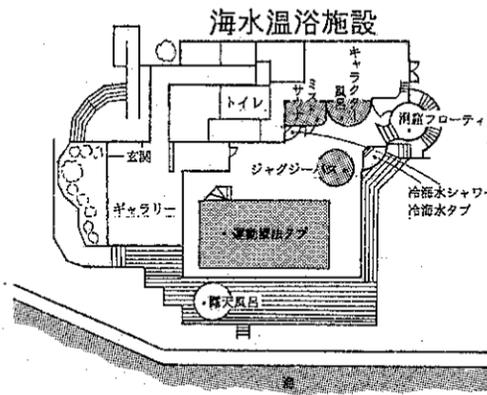
海水温浴施設建設にゴーサイン

九月定例会で文教厚生委員会に付託されていた温浴施設の継続審査の委員会報告がありました。

委員会の結論は原案(上弓削公有地に建設)に賛成。理由として
①当初予算の可決案件であり、県・国の補助金が補正予算で可決されている。十一月に入っている現状では工事を急ぐ必要がある。
②管理運営計画については、さらに研究を行なってランニングコストの低減して一般会計からの繰り出し金を

極力押さえたい必要がある。

将来の要望として、総予算一億円以上のものについては予算編成以前に全議員協議会または各委員会で審議する。場合によっては



特別委員会を設置し協議検討をする。審議にあたっては適正な判断ができる資料を必ず提出する。以上。

委員長報告のあと質疑があり、討論を経て賛成多数(反対四)で十年度一般会計補正

予算案のうち残っていた海水温浴施設の整備事業費が可決されました。

(討論の内容)

平山が反対討論を行ない、九月定例会での全員協議会でも述べたが、今後厳しい財政が予想されるなか、一般会計から多額の繰り出しを続ける豊島コミニュティセンターの二の舞をするべきでない。福祉に関してはもっと先にやるべきこと(たとえば医療システムの整備)がある。

そういう観点からもこの施設の建設は時期尚早といわざるを得ず、ここは勇気を持って断念するべきではないかとの主旨のものでした。

委員会の結論も結果的には苦衷の選択でしょう。弓削町が陥っているジレンマを理解していない議員がいるとも思えませんし、理事者が恐れる県、国との関係悪化、信用の失墜も考慮せざるを得ない。

しかし「将来の要望」として述べられている事柄が示すように、事業を予算化する以前に十分な論議が尽くされてこなかったのは事実です。もし議会対策の結果がそれだとしたら憂慮すべき事態です。駆け引きを恥とし、手のうちを見せあって議論することこそ正しいあり方の筈です。

立场上、貸し借りの無い関係を保つことも、議会制民主主義を維持するための最低のルールであることは言うまでもありません。

自責の念もこめて「世論に背を向け何が世間の代表ぞ」です。(議員 平山・記)

離島医雑感

延岡市立島浦診療所長
菅井健二

あったかい ところ
つよい からだ



へき地医 vs. 都市医 (その2)

将来、21世紀も10年ほど経過すれば現在のような過剰な労働時間はずっと少なくなるに相違なく、半減しないまでも、時間の使い方によれば週日でも午後の2~3時間は健康づくりを主体としたレージャーに費やすようになるだろう。延岡市と北浦町間の陸路にトンネル(現在工事中)が通じ、北浦町と島野浦島間の海上に橋が架かれれば、島浦町は延岡市のベッドタウンとなり得る。市内で働き、島の自宅で、或いは別荘で余暇を楽しむ。こうなるころには私はこの世の人ではないのだが。

それにしても折角の夏、海水浴をしたくても島に海水浴場が無いから、子供等は対岸の北浦町へ渡るか、市内のスィミングクラブに通う。仕事に追われる大人達の健康づくり用に島内にジョギングコース、海水プール、も一つ欲を言えば、サウナがあって然るべきなのにこういった施設は皆無なのである。地元の人達の公共施設に対するビジョンが出来上がっていないし、それというのも衆知を結集し、有るべき姿を描き、実現を果たす人物が今までに皆無だったのだ。

島が必要な人材を輩出しえなければ都市で政治力を養ってJ/Iターンして呉れるリーダーを確保すれば良い。私自身、そういう意味のトラブルシューターとして方々で陳腐な診療所や落ち込んだ医療体制を改善したのだから。気力充実していれば年齢は問わなくて良い。有能で有益なら歓迎される。

都市医・へき地医交代で思い出すのは、アフリカで出会った旧宗主国のフランス人医師達が運営しているグループ診療である。例えば、3人で組み2名が現地で働き、1名はフランスで勉強(同時に保養)する。3人制なら内地滞在期間は各人4ヶ月となるが、その期間の滞在費と学費は稼いでいる現地の仲間が仕送りする。この主旨はへき地(アフリカの首都もフランス人にとってはへき地であり熱耐熱マラリア等致命的疾病が多々ある)現地医療への補足と貢献なのだが、医師達は老いて余生を本国で送る資金は貯蓄する必要がある。

世の中、持ちつ持たれつで、異国に駐在する同国人からの医療収入は多額と聞いた。日本にも未だ「無医村」がある。皆さん、グループ診療で都市とへき地を往来してみても如何。

グループ診療



火渡り体験しました

11月15日、駿乗宗・弓削行者会が主催した『火まつり』はなかなかの見ものだった。ヒトは火を手中におさめ今日の文明を手にしたが、動物でもあつてもヒトにとって火はいつまでも神秘、かつ畏敬の対象だ。行者としての知識を試される山伏問答が興味深かった。



戦前歴史教科書の道鏡像

本田義纒

戦前の国定教科書を概観すると、清麻呂を例にして児童に国体護持を説くことを柱にしている。一時期清麻呂が主語になって表現されたこともあったがそれはすぐ消えて、天皇の命によって動く清麻呂像が鮮明になる。それに反比例するように道鏡の悪人像がこれまではつきりしていく。

「国体護持」「万世一系」という当時の「根本思想」が教科書に反映され、児童にその根本思想を身につけてほしいため教科書が使用された。その一つの手段が「道鏡」である。というより清麻呂の働きを児童に強烈に印象づけるため道鏡に対立するように清麻呂が描かれ、清麻呂を通して「忠義」「忠臣」の心得を植えつけようとしたといえる。

道鏡については当時でも、歴史研究者には「大分学問をした」「若い自分には相応の評判のよかった」(大正三年発行・奈良時代史論)と考えられていた。そして「果たして皇位を覬覦(きゆ・分外の望みを抱く)したであろうか」(同書)と「非望を抱いた」(教科書の表現)道鏡にむけられていた。このような良心の炎を打ち消すような教科書での記述である。

為政者も小学校では、児童に史実を教えるのではなく、志操を養うために国史教育をすると明言している。その炎の存在は意に

青年劇場公演・瓜生正美=脚本・演出

こんにちわかぐや姫

因島おやこ劇場(県協3)合同例会

12月20日(日)14:00~

福山リーデンローズ

中国残留孤児「世の香姫(チャンジー)」が転入高校で女人禁制の演劇部に入部。文化祭では「かぐや姫」の主役になったことで香姫の身辺はいくつもの困難に見舞われる...

因島おやこ劇場/08452-2-4166



とき 1999 1/24(日) (開演:午後3時)

ところ ベル・カントホール
主催 ベル・カントホール公演実行委員会
後援 瀬戸田町・瀬戸田町教育委員会
入場料(全自由席) 08452-7-3848
一般 3,000円(当日3,500円)
18歳以下 2,000円(当日2,500円)
ペア券 5,000円(当日5,500円)

しまなみ海道99

介さなかったのだらう。教育上都合が良いように、逆に史実が作り上げられたと言っている。現在から見れば、道鏡も清麻呂もその点では同じ「国史教育上」の「犠牲者」といえるかもしれない。中国にあつては、臣下が皇位を望む思想は当然でも、日本においてはそれは非望であり国体を汚すものであるという。道鏡はその点でもあるまじき考えを抱いたとされ、道鏡を非難することで清麻呂の忠節を浮き立たせ、国民に国民のあるまじき姿とあるべき姿を同時に説く効果をねらったといえる。だから挿絵の道鏡は入道でありこわい印象をあたえる顔つきだったりする。

『河内弁で悪評吹っ飛ばせ』

悪僧として評判の悪い弓削道鏡の素顔に迫り復権を求めるオペラ「若き日の道鏡」が12月5〜6日、大阪八尾市で上演される。歌詞は河内弁主体の「かわち紙しばい」。上演実行委員会



リハーサルが進む創作オペラ「若き日の道鏡」

は「舞台を通して道鏡さんのイメージを刷新したい」と意欲満々。(11月27日付朝日新聞記事より)



不連続空想非科学童話

宇宙シンポク(11)

辰巳都

「よく聞いてやろうじゃないか」そう思ったとたん、農夫の心は悲しみでいっぱいになりました。なぜか悲しみの原因さえはつきりとわかるのです。

「わしら森で何十万年も平和にやってきた。それなのにここ百年でそれがすっかり崩れてしまった。後から来るものには干渉しないということをやってきたが、善意が仇になったと言わざるを得ない。このままなら戦争をおっばじめるしかない。」

この星はわしらの祖先が平和に生きるために去り、そして、戻ってきた星なのだ! つよい決意が農夫の心を占めました。

「いまわしらの芽生えかけている感情は、かつてわしらを悲しみのどん底に突き落した憎しみの心。またふたたびあのようなことになるのなら、今度は...相手を滅ぼそう...。むかし進化の途中で人間だったわしらの姿におのが祖先を見い出せない程度の頭脳が今の人間の進化の限界なら、やり直すしかない!」



「おじさん、わかった?」ポクと名のる蟻の声がしました。

「子孫が祖先を滅ぼしては駄目なんだ。わかるだらう。それをみんなに伝えてほしい」「そんなことわしじゃ無理じや!」

「だいじょうぶだよ。いいかい。思うことで心をいっばいにするんだ。そしてゆっくりそれを口から吐き出せばいいんだよ。きくと伝わるさ。さつき僕がやったようにね」

ポクと名のった不思議なアリ、いやもしかしたら、少年はそう言ったのでした。

不連続空想非科学童話おわり

双眼鏡

★脳内革命という本が売れ、プラス思考なるものももてはやされ、癒しという言葉がはやり、キレイホッしたりモツレたりクツツイたりドツイたり

★脳内革命という本が売れ、プラス思考なるものももてはやされ、癒しという言葉がはやり、キレイホッしたりモツレたりクツツイたりドツイたり

★異例とされる正月三日の愛媛県知事選★物事には様々な側面があり、それを情報としてとらえ個々の見解を表明するのが投票なる行為☆では、それを楽しみ、よいお年を!